（別添1）

平成25年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事

近畿地方環境事務所

平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所
展示整備工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	特記仕様書-1	Z-01	什器造作図-1（施設案内等什器）
A-02	特記仕様書-2	Z-02	什器造作図-2（映像装置什器）
		Z-03	什器造作図-3（本棚兼閲覧台）
B-01	展示シナリオ	Z-04	什器造作図-4（有孔ボード）
B-02	展示平面図	Z-05	什器造作図-5（ポスター掲示ボード）
B-03	展示展開図-1	Z-06	什器造作図-6（演示具等）
B-04	展示展開図-2		
B-05	展示展開図-3	M-01	模型図（漁のジオラマ模型）
B-06	展示展開図-4		
		S-01	システム・ソフト制作
G-01	グラフィック図-1		
G-02	グラフィック図-2		
G-03	グラフィック図-3		
G-04	グラフィック図-4		
G-05	グラフィック図-5		
G-06	グラフィック図-6		
G-07	グラフィック図-7（展示品（案））		
G-08	グラフィック図-8（展示品（案））		
G-09	グラフィック図-9（展示品（案））		
G-10	グラフィック図-10		
G-11	パネル取付図（共通仕様）		

公園名称	吉野熊野国立公園				
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所 展示整備工事				
図面名称	表紙・図面リスト		縮尺	—	
年月日	平成25年9月	図面番号	A-00		
会社名	中央開発株式会社		照査		設計
事務所名	近畿地方環境事務所		照査		設計

（A3判）

I　工事概要

1. 工事名称　　平成25年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事
2. 工事場所　　和歌山県東牟婁郡串本町潮岬地内
3. 工事範囲　　1. 什器造作工事　　2. グラフィック工事
　　3. 映像装置　　4. 模型工事　　5. その他
4. 工事種目：　博物館展示施設
5. 工　　期：　平成　　年　　月　　日　～　平成２６年　３月２５日

II　展示工事仕様

1. 図面及び特記仕様に記載されてない事項は、すべて建設大臣官房官庁営繕部監修
「建設工事共通仕様書」
「電気設備工事共通仕様書」
「機械設備工事共通仕様書」最新版による。

2. 設計図面の優先順位
1）質疑応答書、2）現場説明事項、3）特記仕様書、4）設計図、5）共通仕様書

いずれかの図書に記載されている工事はすべて本工事内容に含まれるものとする。更に図書に記載されていなくとも、展示の機能を満足させるために通常必要とされるものは、本工事内容に合まれ、請負者の責任において施工されなければならない。

III　特記仕様

項　目	特　記　事　項
1章　一般共通事項	
1-1　一般事項	
1. 監督員及び係員	この仕様書でいう監督員及び係員とは（工事請負契約書に規定する）監督職員又は、その代理人とする。監督員及び係員は仕様書記載事項に基ずき現場代理人に対して指示承諾、検査等行う。
2. 質疑に対する協議	設計図書に明示のない場合又は疑いを生じた場合は、監督員と協議する。
3. 官公庁その他への手続き	工事の施工上必要な手続きは速やかに行う。
4. 現場の納まり等	設計図書に明示無き細部箇所で取り合い上、納まり上、技術上、当然必要と判断されるものは監督員の承諾を得て均衡のとれた材料で施工する。この場合は原則として設計変更の対象としない。
5. 建築材料等	建築材料の製造所、製品及び施工業者などは、特記されたもの又は同等以上とする。但し、同等以上とする場合は、監督員の承諾を受ける。
6. 特別な材料の工法	特別な材料の工法は、該当製品の指定工法による。
7. 発生材の処理	引渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、関係法令等に従い適切に処理する。
8. 支給品	詳細図によって図示されたもの以外の資料は支給品とする。
9. 展示内容に関する打ち合わせ及び調査	展示内容全般（デザインを含む）に関しては、打合せを行い、より具体的な内容を固めていくものとする。それらをまとめ、図面の変更をおこない、監督員と協議の上を決定する。
10. その他	施工にあたっては別途行われる建築工事や設備工事との調整を図ること。
1-2　工事現場管理	
1. 現場代理人	請負者の現場代理人は、展示の各工事につき高度の知識、経験を有する者とし、あらかじめ履歴書、経歴書を提出する。
2. 工事現場の安全衛生管理	1）工事現場の安全衛生に関する管理は、現場代理人が責任者となり、関係法令等に従ってこれを行う。但し、別に責任者が定められた場合はこれに協力する。 2）工事現場においては、つねに整理整頓を行い、特に危険箇所の点検を行うなど、事故の防止に努める。
3. 災害及び公害の防止	工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、関係法令に従い適切に処置するとともに、特に下記の事項を守らなければならない。 1）第三者に災害を及ぼしてはならない。 2）公害の防止に努める。 3）善良な管理者の注意をもってしても、なお災害または公害の発生の恐れがある場合の処置については、監督員と協議する。
4. 臨機の処置	災害または公害が発生した場合は、速やかに適切な処置をとり、直ちにその経緯を監督員に報告する。
5. 養　生	在来部分、施工済み部分、未使用部分などで、汚染又は損害の恐れのあるものは、適切な方法で養生を行う。
6. 跡片付け	工事完成に際しては、建築物などの内外の跡片付け及び清掃を行う。
1-3　工程表、施工図、施工計画書、その他	
1. 実施工程表	着工に先立ち実施工程表を作成し、監督員の承諾を受ける。施工図及び施工計画書の作成工程表を提出し、また補足として週間工程表、月間工程表及び工種別工程表を提出し監督員の承諾を得る。
2. 施工図	請負者は各部位別及び工種別施工図の作成に際し、必要に応じて相互の取り合いの検討できる施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。施工上の必要性に基づき施工図、見本等の提出予定リストを作成し監督員の承諾を受ける。
3. 施工計画書	着工に先立ち工事全般について仮設を含めた各工事ごとの施工計画書を作成し、監督員の承諾を得ることとし、作成にあたっては関係工事と事前調整を行うこととする。
4. 色彩、素材等の確認	監督員の指示による。
1-4　材　　料	
1. 材料	1）工事に使用する材料は新品とし、監督員の検査を受けて合格したもの。 2）材料の品質が明紀されていない場合は、均衡を得た品質のものとする。 3）設計図書に〔JIS（日本工業規格）の規格品〕と指定された材料は、JISマークの表示のあるもの又はJISの規格証明書の添付されたものとする。 4）設計図書に〔JAS（日本農林規格）の規格品〕と指定された材料は、JASマークの表示のあるもの又はJASの規格証明書の添付されたものとする。 5）建築材料の製造所、製品及び施工業者は必要に応じて監督員の承諾を受ける。
1-5　施　　工	
1. 施工	施工は、設計図及び監督員の承諾を受けた工程表、施工計画書、施工図、原寸図などに従って行う。
2. 施工検査	1）監督員の指定した工程に達した場合は監督員の検査を受ける。但し、これによることができない場合は別に指示を受ける。 2）合格した工程と同じ工法により施工した部分については、以後の監督員の検査は抽出検査とする。但し、監督員が特に指示したものは、この限りではない。
3. 施工の立会い	設計図書に定められたもの及び監督員が特に指示する場合は、監督員の立会いを受ける。
1-6　記　　録	
1. 記録	1）工事の全般的な経過を記録した文書を監督員に提出する。 2）監督員が指示した事項又は監督員と協議した事項について記録し、監督員に提出する。但し、軽易な事項については、監督員の承諾を受けて省略する事ができる。 3）監督員が施工の適切な事を証明する必要があると認め指示する場合は、工事写真、見本品、試験成績書など必要な資料を整備して、監督員に提出する。
2. 完成図、その他	1）竣工図、施工図、工事工程写真を監督員に提出する。提出物は下記による。 施工図、設計図（一般図、組立図及びその他監督員の指示する図面。図面の作成は設計図に準じて行う。） 施工図（各工事の施工図、製作図のうち監督員の指示する図面）

2章　仮設工事	
2ー1　工事用水及び工事用電力	
1. 工事用水	基本的に本設を利用する。
2. 工事用電力	基本的に本設を利用する。
3. 現場事務所	必要に応じて設置する。その設置場所については監督員の指示による。 光熱・用水費及び付器一式。電話等の費用は請負者の負担とする。
4. その他	特記なき事項は共通仕様書による。
3章　木工事	
3-1　材　料	
1. 木材	1）構造材及び下地材の等級は、1等とする。造作材は、特記がなければ1等上小節とする。 2）樹種は設計図または仕様によるが、特記のない下地材はジェルトン材を使用のこと。 3）含水率A種は、共通仕様書に準拠する。（共通仕様書__表12. 2. 1）
2. 合板	1）合板の規格は特記がなければ「普通合板の日本農林規格」によるJASマークの表示のある低ホルマリン合板とする。
3. 特殊合板	1）天然木化粧合板（タモ、ナラ、カバ　等） 2）メラミン化粧合板　等
4. くぎ	1）JIS　A5508（鉄丸くぎ）による。（下地材料） 2）くぎの長さは打付ける板厚の2.5倍以上を標準とする。 3）さか目くぎは径5m/m長さ50m/m程度とする。
5. 緒金物	諸金物の形状、寸法などは図示に準拠する。
6. 防腐処理	鉄筋コンクリート造等の最下階等に接する木材はすべて防腐剤JIS　K2439クレオソート油にて防腐処理を行う。但し、防腐処理剤、他の塗装を行う部分、仕上げに支障となる部分及び接着剤を使用する部分を除く。
3-2　工　法	
1. クロス下合板貼り	1）クロスの下地合板貼りは原則として縦貼りとする。 2）合板の継ぎ目は、パテうめの後均一にならすものとする。
2. グラフィック	グラフィックパネルは特記なき場合、ジェルトン材軸組とし、表面4m/m厚以上の合板を片面貼パネルり、工場プレス加工（フラッシュパネル）とする。
3. 展示台等	1）展示台の種類、材料、形状、寸法等は図面の特記による。 2）取付けまたは据付けは現場製作あるいは工場製作等、搬入後位置、納まり等正しく行うこと。

公園名称	吉野熊野国立公園		
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事		
図面名称	特記仕様書-1	縮尺	—
年月日	平成25年9月	図面番号	A-01
会社名	中央開発株式会社	照査 / 設計	
事務所名	近畿地方環境事務所	照査 / 設計	

（A3判）

4章　金属工事

4-1　表面処理

1. 鉄の表面処理	鋼板はJIS　G3101とし、電気亜鉛メッキ、リン酸塩又は、クロム酸による化成処理を行ったものとする。
2. ステンレスの表面仕上	JIS　G4305のSUS304の規格品とする。仕上げの種類は図面特記による。特記がない場合はヘアライン仕上げとする。

4-2　工　法

1. 工法	製品の取り付けに際しては、あらかじめ位置を正確に墨出しを行い、金物の形状、寸法、重量等に応じた仮設枠台、うま、支柱等を型枠、その他の作業の支障にならないよう取り付け、垂直水平を正したのち足金物またはつなぎ金物を用いる。アンカー止めに関してはボルト等により移動を生じないよう堅固に取付ける。
2. ボルト類	1）床止めのアンカーボルトは、直径8～12ボルトを使用し、そのピッチは1800m/m以下とする。 2）天井スラブよりのアンカーボルトは、直径8～12ボルトを使用し、吊下げレベルをターンバックルで調整するものとする。
3. 軽量鉄骨天井下地 軽量鉄骨壁下地	下地材はJIS　A6517による。形式・寸法・工法は共通仕様書による。

5章　塗装工事

5-1　一般事項

1. 一般塗料	JISの認定工場の製品とする。

5-2　素地ごしらえ

1. 鉄面の素地	鉄面の素地ごしらえは共通仕様書__表14. 2. 1により、種別は特記による。特記がなければごしらえC種とする。
2. 亜鉛メッキ面の素地ごしらえ	亜鉛メッキ面の素地ごしらえは共通仕様書__表14. 2. 2により、種別はB種とする。
3. 木部の素地ごしらえ	木部の素地ごしらえは共通仕様書__表12. 1. 1により、種別はB種とする。
4. 石膏ボード及びその他ボード面の素地ごしらえ	石膏ボード及びその他ボード面の素地ごしらえは共通仕様書__表14. 5. 1により、種別は特記による。特記がなければ、石膏ボードの目地処理が継目処理工法の場合はA種、その他の場合は、B種とする。

5-3　その他塗料塗り

1. 合成樹脂合成ペイント塗り	(OP、SOP)　共通仕様書による。
2. クリヤーラッカー塗り	(CL、LC)　共通仕様書による。
3. フタル酸樹脂エナメル塗り	(FE)　共通仕様書による。
4. 合成樹脂エマルションペイント塗り	(EP、AEP)　共通仕様書による。
5. メラミン焼付塗装	

6章　ガラス工事

1. 材料	ガラスの品種及び規格等 板ガラス　　JIS　R3202 強化ガラス　　JIS　R3206
2. 取付材料	ガラス取付シール材は、JIS　A5758の規格品とする。 1）ガラス＋ガラス シリコンシーリング材（SR-1）（1成分形） 2）ガラス＋建具 シリコンシーリング材（SR-2）（2成分形） 3）のぞきケースの場合　ガラス＋ガラス 紫外線硬化型接着剤
3. 一般工法	硝子の切断面は磨き加工とし、整型する。硝子の取付に際し硝子の下部の硬質ゴム等クッション材を置き、またシリコンコーキングを施す前に硝子の左右に発砲ポリスチレン材等のバックアップ材を用いる。板ガラスの品種、板厚寸法、使用場所は図面及び仕様書による。取り扱いは吸盤を使用。十分慎重にし、特に硝子縁部に損傷を与えぬように注意すること。

7章　表装工事

1. 材料	1）壁紙は、JIS　A6921（壁紙）により、建築基準法に基づく防火材料の認定表示のあるものとし、品室及び防火性能の級別は、特記による。 2）接着剤は、酢酸ビニル系エマルション形とJIS　A6922（壁紙施工用でん紛系接着剤）を混合したものとし、使用量は、固型換算量（乾燥重量）60g/㎡以下とする。 3）素地ごしらえに用いるパテ及び吸込止めクリア（シーラー）は、壁紙専用のものとする。 4）写真 5）樹脂フィルム等
2. 工法	1）壁紙の工法は、共通仕様書による。 2）写真貼下地が合板、ボード類の場合は目地貼りとし、パテにて目違い、不陸を補正し、サンドペーパーにて平滑にする。 3）写真を貼られる側（パネル）に水性速乾性接着剤は防腐、防カビ処理をしたものを使用すること。特にモノクロペーパーは水洗いした上で糊付けを行い、糊の吸着をしやすくすること。又、糊が表面に残らないよう完全にふき取ること。又、乾燥の際表面の収縮によりめくれ上がらぬよう、乾燥時間と接着剤の濃度を十分調節すること。 カラーペーパー（RCペーパー）に使用する接着剤は材質の変化を生じさせないでん紛系接着剤とする。

8章　内装工事

1. 石膏ボード	1）石膏ボードは、JIS　A6901の規格品とする。 2）張り付けは目地通りよく、不陸、目違いなどのないように行う。 3）壁の石膏ボードは縦張りを原則とする。

9章　グラフィック工事

1. 一般事項	グラフィックとは主題や項目の解説文、図表、イラストレーション、写真などによる説明をいい、これらを総括してグラフィックと呼ぶ。 本設計図書の〈グラフィック図〉は各パネル内での情報構成及び表記の基準を示したものである。 請負者はグラフィックデザインを進めるにあたって本設計図書を本資料とし、監督員並びに監督職員と協議の上、ラフレイアウト図等の検討資料を作成し、承諾を受け〈グラフィック製作図〉を作成すること。またその際グラフィック製作にあたり、請負者は資料の調査・収集の協力を行うこと。
2. 原稿	1）解説文、イラスト、図表、展示資料解説（キャプション）、フォトネームなどの原稿は、監督員が作成する。 2）解説原稿はルビ及び文体の統一がなされ、リライトの必要がない最終原稿のものとする。 なお、完成した最終原稿は、請負者にて英語翻訳及びネイティブチェックを行う。 3）写真素材は、ネガ又はポジフィルム、データ等にて請負者に支給する。
3. 指定データ	指定データは監督員の承諾を得るものとする。
4. イラスト・図解など	イラスト等は、下絵の段階及び原画完成の後、監督員の承諾を受けるものとする。
5. データ版下	データは出力機に合わせたソフト、書体、カラーモードで作成する。
6. カッティングシート	中川ケミカルCS200と同等品以上とする。
7. 出力紙の加工	出力されたプリントは完全に乾燥後、アデムコラミネート、UVラミネート、ケミカルラミネート、ポリマウント、メタルマウントのうち出力紙、展示位置、効果を考慮し、適した方法で加工する。
8. 版権	写真、イラスト、図表などで版権処理の必要なものについては受注者が交渉を行い許可を得るものとする。

10章　映像・音響工事

1. 一般事項	設計されている演出に関わる、動力・機械・電源・照明・制御・コンピューター・映像・音響機器等のシステムハードと、それらの演出・動作・制御に必要なプログラム等のソフトウェアー式をいう。 本設計図書の〈システム図〉は展示演出の機能を十分に満たす内容として構成し、示したものである。 請負者は製作時には技術開発の進歩や最新技術の普及などといった状況に応じて機能を十分に満たすものとし、最適と判断するシステムの構成について検討し、再構成すること。その結果本設計図書の内容に変更が必要になった場合には監督員並びに監督職員の承接を得ること。また、システムの構成要素（ハードウェア）については原則として仕様内容同等品または同等品以上のものを選択すること。高所への取付などについては落下防止などの安全面、機器の放熱対策、メンテナンス性など留意すること。
2. 原稿	1）解説文、フォトネームなどの原稿は、監督員が作成する。 2）解説原稿はルビ及び文体の統一がなされ、リライトの必要がない最終原稿のものとする。 3）写真素材は、ネガ又はポジフィルム、データ等にて請負者に支給する。
3. 材料・機器・部品及び製品	1）使用する材料、機器、部品、製品等については、新品とし、なおかつ設計図書に表示する材料、機器、部品、製品等と同等品以上のものを使用する。また、それらの使用に際しては事前に監督員・係員の承諾を得ること。その他、JIS及びISO規格のある材料は、設計図書に指定のない限り、規格に示された範囲のものから用途に応じて適切な品質のものを使用すること。 2）電源部・制御・映像・音響機器関係の組み立ては、可能な限りユニット化し、分解組み立て、点検が容易にできうるようにすること。なお、各ユニット間の配線は専用コネクターで接続すること。 3）機器の設定を行う際は、監督員の立会にて設定調整を実施し、機器の設定（ボリューム・スイッチなど）位置にマーキングを行う。 4）施工者は、各装置や機器の取扱説明書、保守に関する説明書、保証書、予備品リスト、メンテナンスの連絡先を添付の上、A4ファイル（縦）に整理し提出すること。
4. 映像・音響ソフト製作	映像・音響ソフト製作とは、映像・音響機器・コンピューター（ハード）によって映し出される、レーザーディスク・音声ROM・固定ディスクなどに記録された、映像・音響プログラムを呼ぶ。 本設計図書の〈映像音響図〉は、各ソフトの情報構成及び表記の基準を示したものである。

11章　模型工事

1. 一般事項	設計図書の模型図面等は、各コーナー内での造形製作の基準を示したものである。詳細設計では、各アイテム毎の製作図の作成または試作模型を製作し、発注者の承認を受ける。その際、発注者は発注する著作権処理、複製製作や樹木伐採等の各許可申請等の処理を行い、これに直接要する費用を負担する。
2.縮尺復元	1）請負者は製作造形物において伝達すべき情報が的確に表現できる縮尺数値を監督員と協議する。また、監督員は必要に応じて情報内容に適合した学術監修者を定める。 2）請負者は監督員から基礎的な資料を受け取り、完成形態が把握できる施工図書を作成して承認を受ける。 3）詳細設計では、請負者は監督員および学術監修者から詳細に至る資料の提供を受け、細部が把握できる図面の作成もしくは試作模型を製作し協議後、承認を受け工場製作に入る。また、資料の種類によっては、請負者が資料収集の協力を行う場合もある。

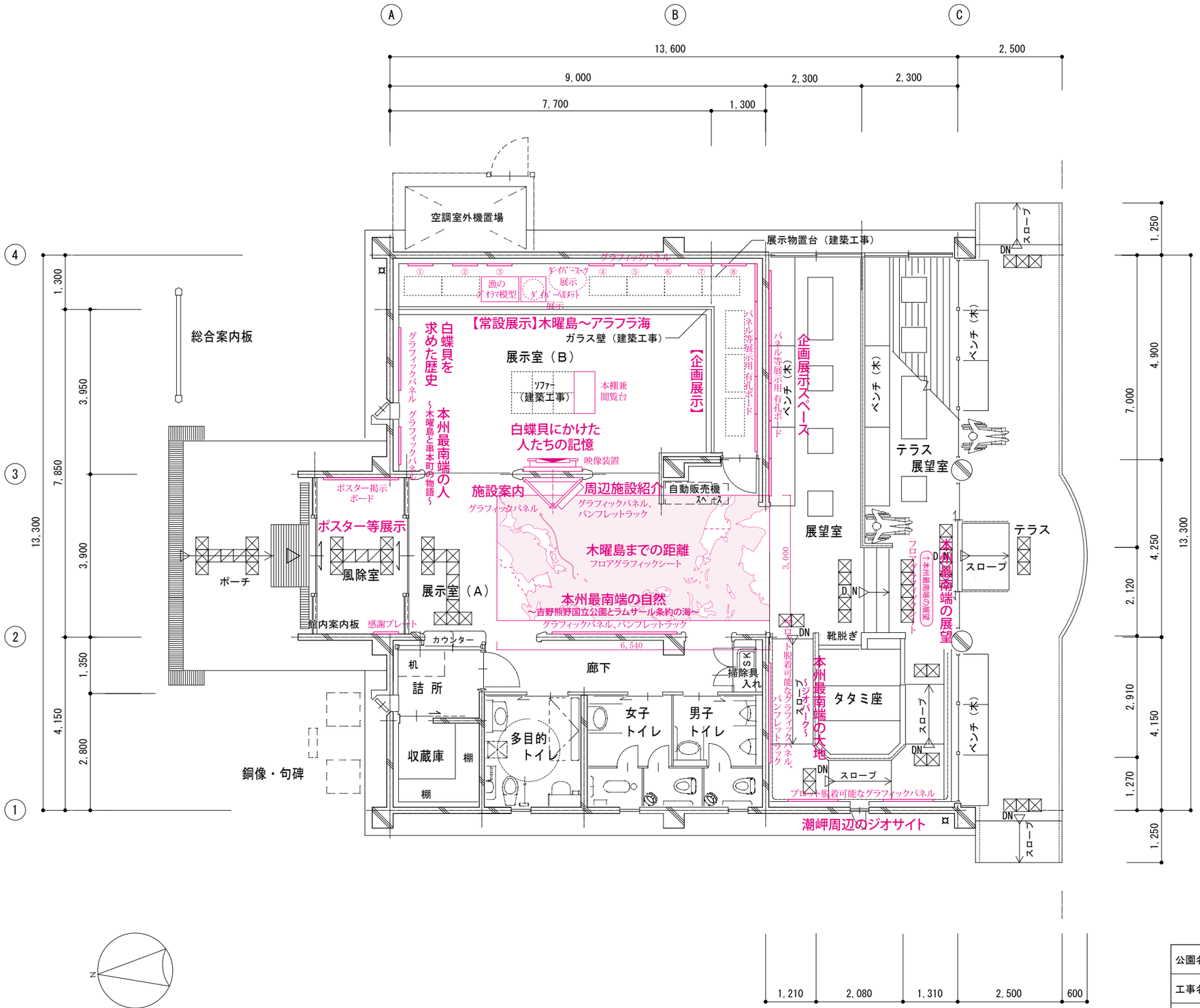
公園名称	吉野熊野国立公園		
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事		
図面名称	特記仕様書-2	縮尺	—
年月日	平成25年9月	図面番号	A-02
会社名	中央開発株式会社	照査 / 設計	
事務所名	近畿地方環境事務所	照査 / 設計	

（A3判）

ゾーン名《部屋名》	コーナー名	展示概要	展示手法	備　　考
国立公園紹介ゾーン 《展示室(A)》	本州最南端の自然 ～吉野熊野国立公園と ラムサール条約の海～	生物の写真をメインとする。海の紹介をメインとし、黒潮がぶつかる西側に珊瑚が広がるラムサールの海（珊瑚・南方系の魚類等）、東側が海草とそこに棲む魚（海草・磯もの・魚類等）と海の多様性が分かる表示とする。 植物・昆虫等については、南方系の黒潮由来のものに焦点を当てる。 ラムサール登録湿地について、国立公園の紹介の中にまとめて（国立公園・地域の自然の魅力の一部として）紹介する。 ラムサール条約登録湿地範囲を図で示す。	ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾊﾟﾈﾙ （w3000×h900） ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄﾗｯｸ	
ジオパークゾーン 《タタミ座》	本州最南端の大地 ～ジオパーク～	ジオパークの概念を説明し、現時点でジオパークに認定されている国内の個所を説明する。 また、南紀熊野ジオパークについても紹介する。 ただし、将来的に変更が必要と思われる解説や写真などは、マグネットシートで印刷し、変更が可能な仕様とする。	ﾌﾟﾛｯﾄ脱着可能なｸﾞﾗﾌｨｯｸﾊﾟﾈﾙ （w2400×h900） ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄﾗｯｸ	今後の変更が可能なように脱着可能な仕様とする。
	潮岬周辺のジオサイト	≪潮岬・大島のジオサイト紹介≫ 潮岬・大島のジオサイトを紹介し、その成立メカニズム等の図解を用いて解説する。 紹介する候補は、「潮岬・大島の成り立ち」「火成活動」「海岸段丘」「陸繋島」「海金剛」等。 ≪周辺のお勧めジオサイト紹介≫ その他の串本町内のジオサイトを紹介し、その成立メカニズム等の図解を用いて解説する。 紹介する候補は、「橋杭岩」「さらし首層」「和保の海差扇状地堆積物」「九龍島」「荒船海岸の堆積岩」「田の崎の不整合」等。	ﾌﾟﾛｯﾄ脱着可能なｸﾞﾗﾌｨｯｸﾊﾟﾈﾙ （w1200×h900×2 枚）	同上
地域史ゾーン 《展示室(A)》	施設案内	導入部の目立つ個所にあるため、本施設のタイトルサインとし、各ゾーンへの誘導サインの機能も持たせる。 また、本館の趣旨や、３つの展示コンセプトを説明する。 〇人（木曜島：地域史ゾーン）　〇自然（国立公園・地域の自然魅力紹介ゾーン）　〇大地（ジオパークゾーン）	ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾊﾟﾈﾙ （w900×h2100）	
	木曜島までの距離	1/1,000,000 スケールの「日本～木曜島周辺地図」を床に貼る。 なお、日本地図は「黒潮」や「本州最南端」等を、木曜島周辺地図は「木曜島までの距離」等を表記する。	ﾌﾛｱｸﾞﾗﾌｨｯｸｼｰﾄ （w3000×h6540）	★注意： 本案の場合、建築床材を平滑な素材に変更が必要。
《展示室(B)》	本州最南端の人 ～木曜島と串本町の 物語～	明治から昭和にかけて、串本町の多くの若者が、オーストリア北部の木曜島及びアラフラ海に出向き、白蝶貝等の貝採取の事業に携わっていた。 串本町から遠方であることもさることながら、なぜその場所で「世界で最も危険な仕事」と言われた、潜水による貝採取を行っていたのかを、時代背景等を踏まえて説明する。	ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾊﾟﾈﾙ （w900×h900）	
	白蝶貝を求めた歴史	明治から昭和にかけて、木曜島やアラフラ海で行われていた、白蝶貝等の採取事業の歴史を年表で説明する。 なお、後の展示パネルと年代のリンクを図るために、「第一期（明治～昭和 6 年）」「第二期（戦前：昭和 6 年～16 年）」「第三期（戦後：昭和 28 年～36 年）」を色分けで表現する。	ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾊﾟﾈﾙ （w1500×h900）	
	【常設展示】 木曜島～アラフラ海	上記の年表で色分けした年代ごとに、それが分かるようにコーナーカラーを表示する。展示の分類としては、第一期をメインとして、「木曜島の墓地・慰霊塔」「潜水病等の過酷な労働」「潜水服・潜水方法・漁の仕方」「日本人はなぜ活躍したのか」等を中心にまとめる。第二期・第三期については、戦前・戦後のアラフラ海についてまとめる。 また、ダイバースーツ等の潜水具展示や採取船模型、白蝶貝等の展示を有効活用する。	ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾊﾟﾈﾙ （A1 判×8 枚程度） 実物資料展示、 漁のｼﾞｵﾗﾏ模型	
	【企画展示】 トレス市との友好都市（案）	展示替えがしやすいように、搬入扉に近い場所を企画展示のコーナーとする。 当初の企画展示の案としては、「トレス市との友好都市」等を提案する。	画鋲が使える有孔ﾎﾞｰﾄﾞ（w4500×h1800） ｲﾚﾊﾟﾈ（A1×10 枚）、他	既存ﾊﾟﾈﾙや既存展示物にて構成する。
	白蝶貝にかけた人たちの記憶	膨大な写真資料をパワーポイントに取り込み、BGM 付のオートスライドショー機能で編集し、スタートボタンのみで再生するシステムとする。写真資料は、過去に同町で行われた企画展の写真を全て取り込み表示させる。なお、写真の順番も企画展の順番とする。	32 型映像装置 （ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄのｽﾗｲﾄﾞｼｮｰ）	将来的にｿﾌﾄ内容の差し替えが容易な仕様とする。
	閲覧コーナー	ソファーの横に本棚兼閲覧台を設置し、新聞等のスクラップブックや参考書籍を置く。	本棚兼閲覧台 （w900×d450×H750）	
掲示・企画展ゾーン 《風除室》	ポスター等展示	周辺施設のイベント等のポスターを掲示できるように、掲示ボードを設置する。	ﾎﾟｽﾀｰ掲示ﾎﾞｰﾄﾞ （w1800×h1800）	
	感謝プレート	展示物等の提供や協力した人・組織へ、感謝の言葉と共に、その名称を紹介する。	ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾊﾟﾈﾙ （w600×h600）	
《展示室(A)》	周辺施設紹介	当施設を中心とした、周辺の施設（串本海中公園センター、トルコ記念館、日米修交記念館等）概要を紹介する。また、自然の見どころ（橋杭岩、大島、海金剛、樫野崎、九龍島、古座川等）の表記はマーカー等で工夫し、観光の誘導を図る。なお、印刷面は、ホワイトボードシートに印刷し、水性マーカーで書き込みができ、またマグネットが留められるようにする。	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞｼｰﾄ印刷ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾊﾟﾈﾙ （w900×h900） ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄﾗｯｸ	
《展望室》	企画展示スペース	企画展示がしやすいように、パネル等を簡単に展示できるように展示ボードを用意する。	画鋲が使える有孔ﾎﾞｰﾄﾞ（w5400×h900）	
《テラス展望室》	本州最南端の展望	興味深くテラスに誘導するために、この先が本州最南端であることをアピールする表示を床に貼る。	ﾌﾛｱｸﾞﾗﾌｨｯｸｼｰﾄ （w1800×h300）	

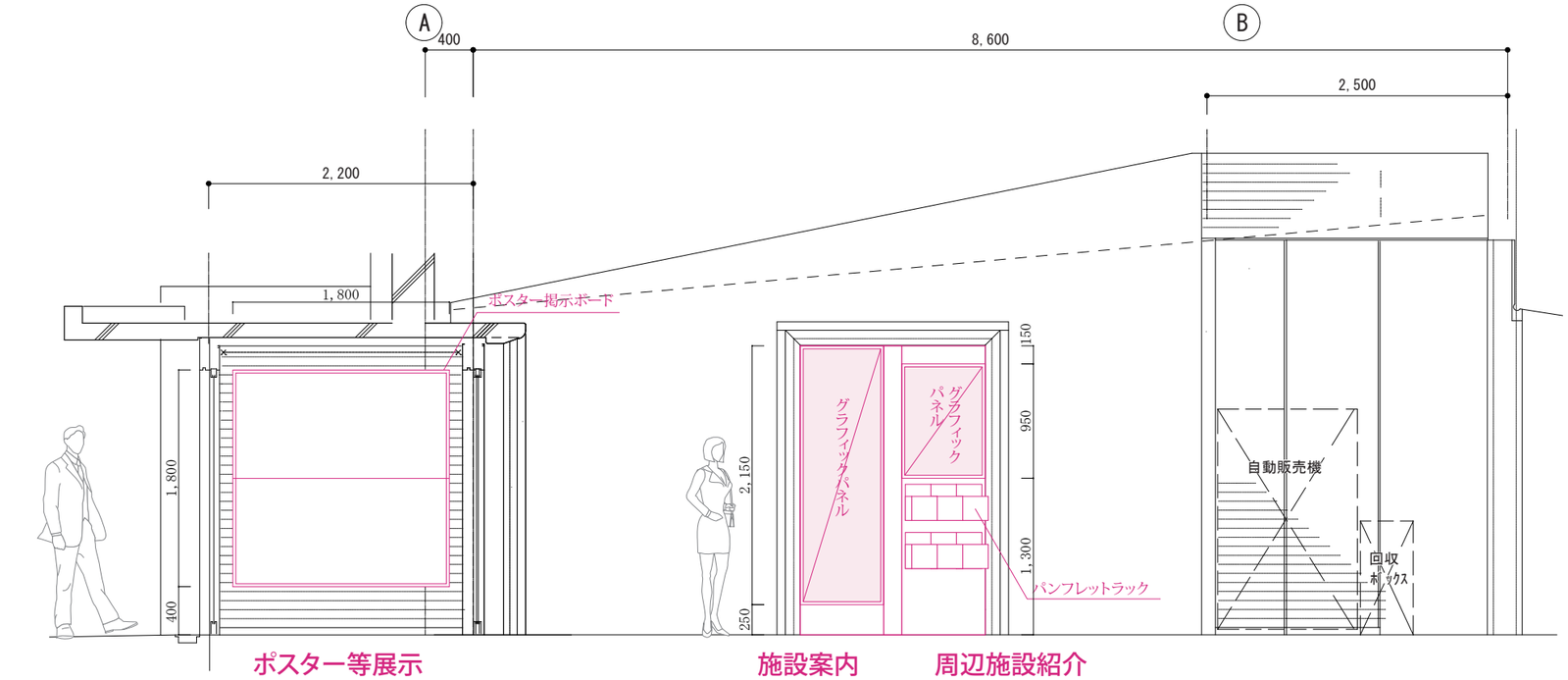
公園名称	吉野熊野国立公園				
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事				
図面名称	展示シナリオ		縮尺	—	
年月日	平成25年9月	図面番号	B-01		
会社名	中央開発株式会社		照査		設計
事務所名	近畿地方環境事務所		照査		設計

（A3判）

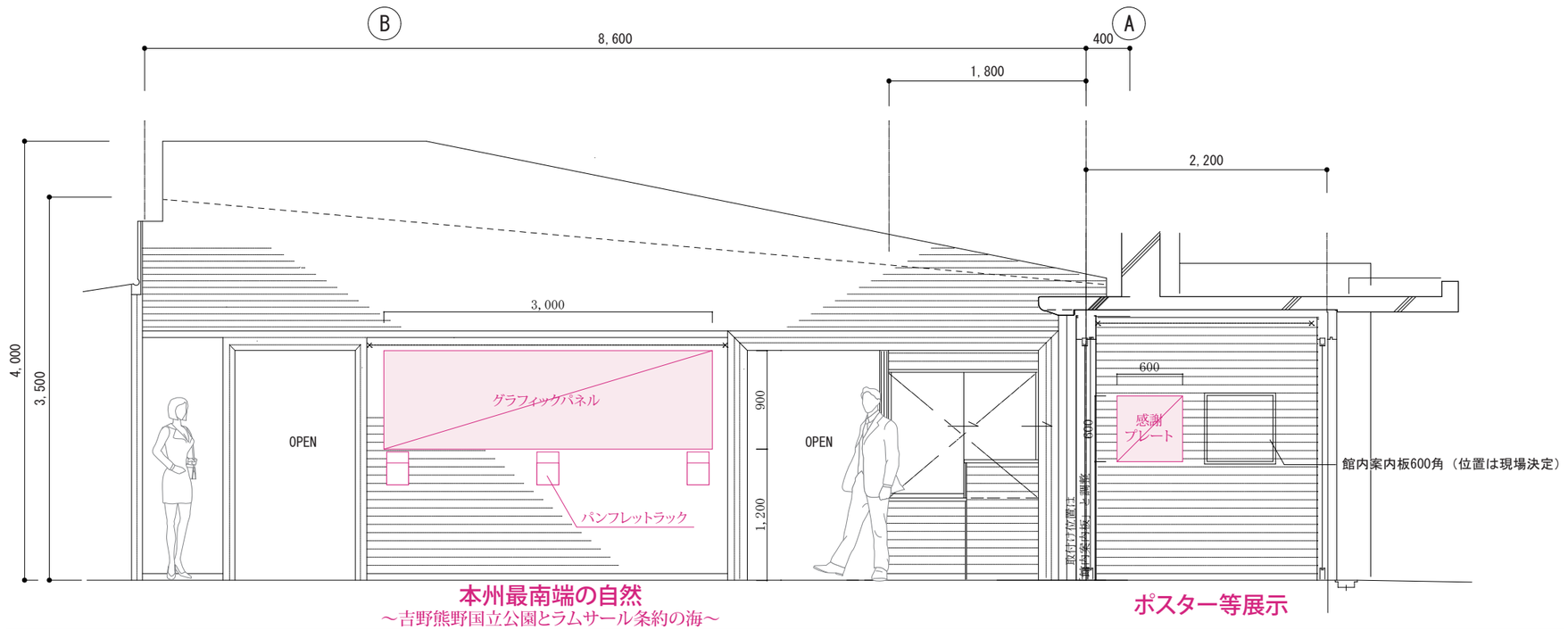


公園名称	吉野熊野国立公園		
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事		
図面名称	展示平面図	縮尺	1／100
年月日	平成25年9月	図面番号	B-02
会社名	中央開発株式会社	照査 / 設計	
事務所名	近畿地方環境事務所	照査 / 設計	

（A3判）



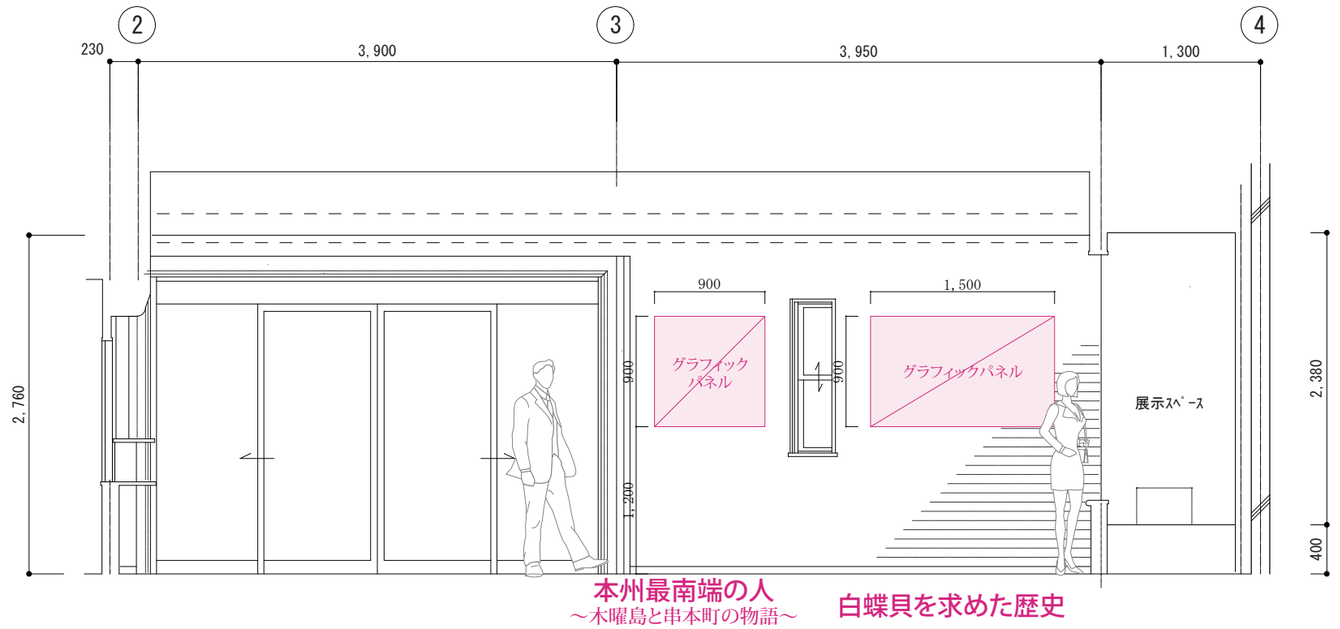
風除室、展示室（A）　　東 面



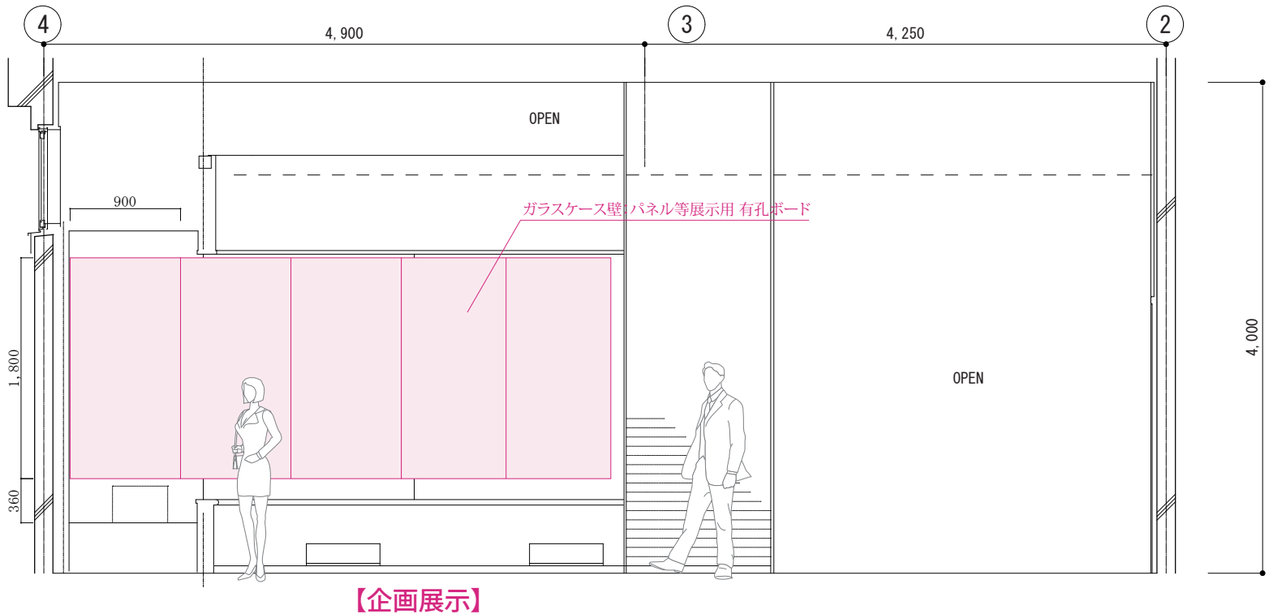
風除室、展示室（A）　　西 面

公園名称	吉野熊野国立公園		
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事		
図面名称	展示展開図-1	縮尺	1／50
年月日	平成25年9月	図面番号	B-03
会社名	中央開発株式会社	照査 / 設計	
事務所名	近畿地方環境事務所	照査 / 設計	

（A3判）



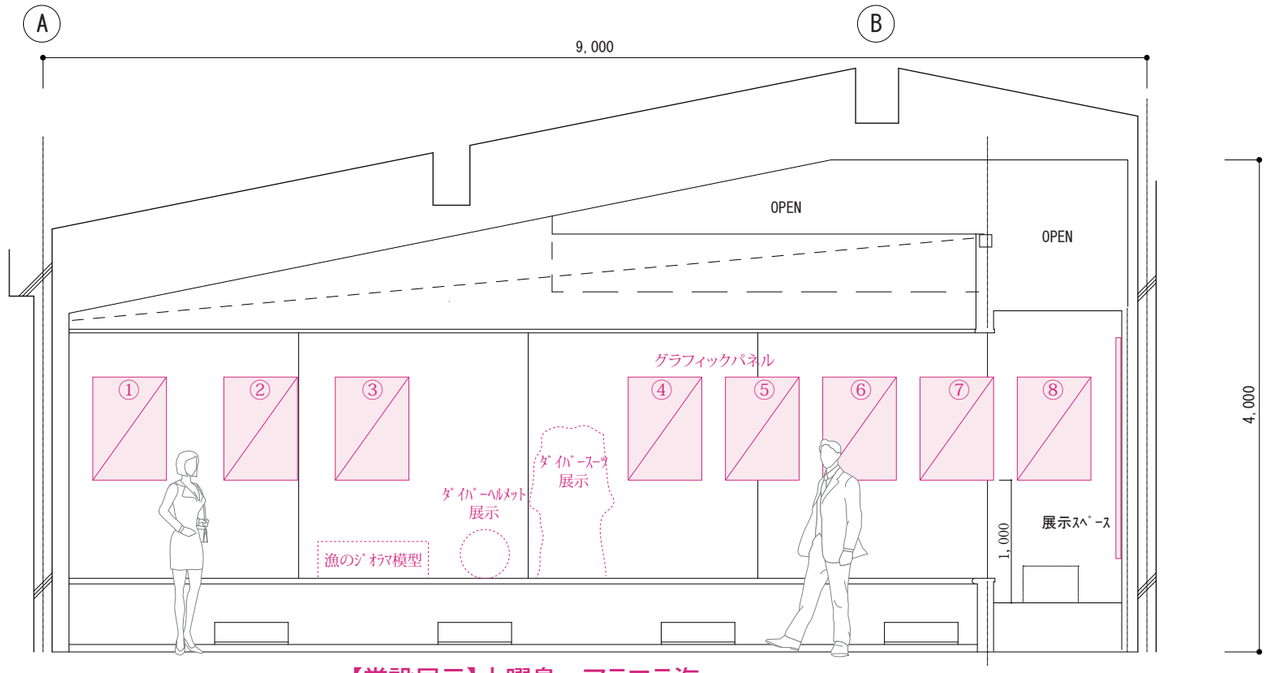
展示室（Ａ・Ｂ）　　北 面



展示室（Ｂ）　　南 面

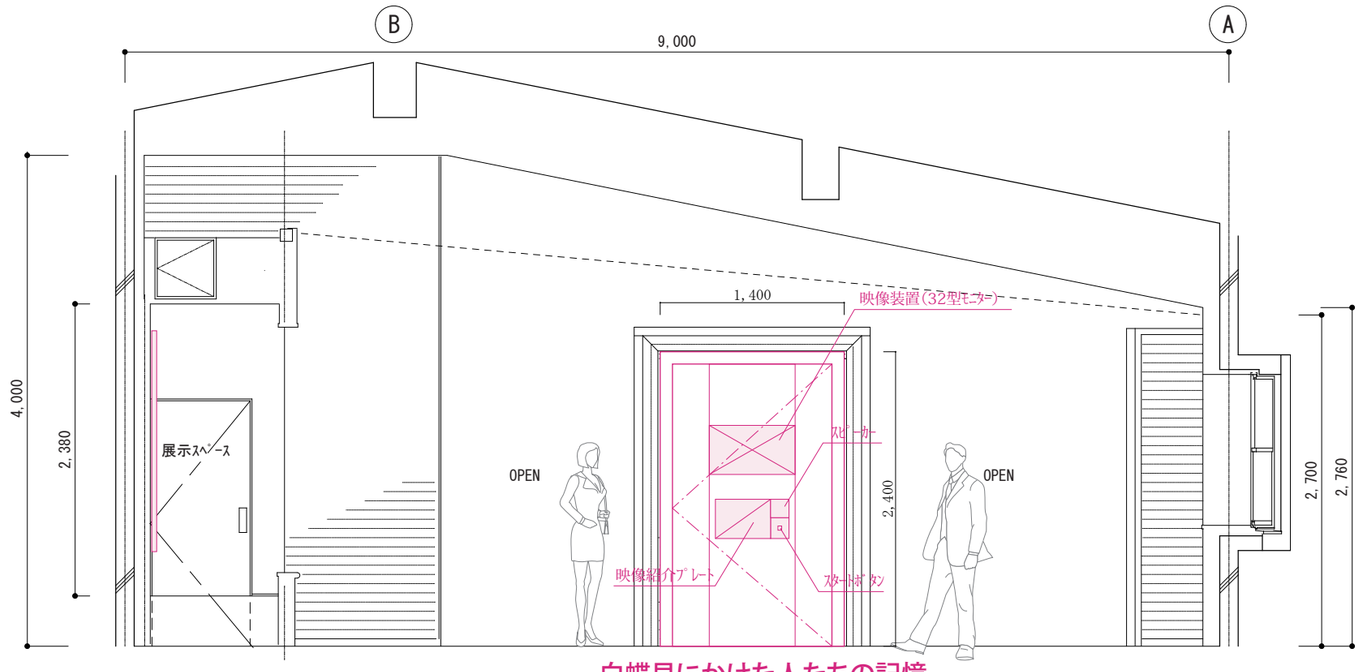
公園名称	吉野熊野国立公園		
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事		
図面名称	展示展開図-2	縮尺	1／50
年月日	平成25年9月	図面番号	B-04
会社名	中央開発株式会社	照査 / 設計	
事務所名	近畿地方環境事務所	照査 / 設計	

（A3判）



【常設展示】木曜島～アラフラ海

展示室（B）　東 面

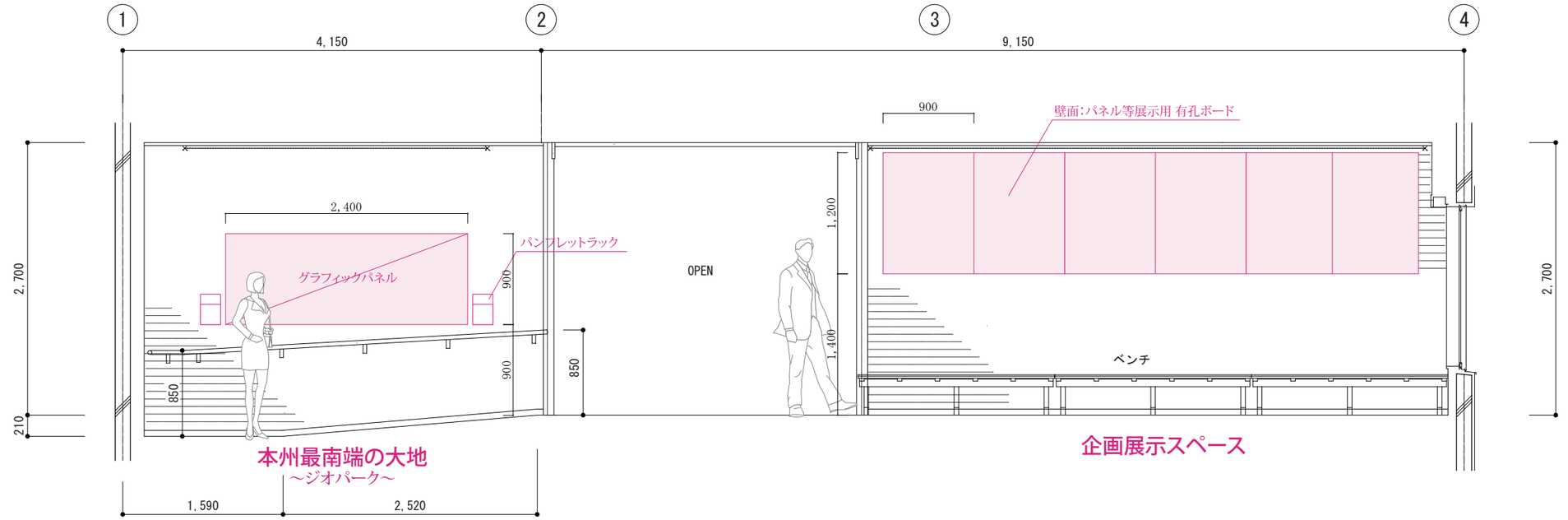


白蝶貝にかけた人たちの記憶

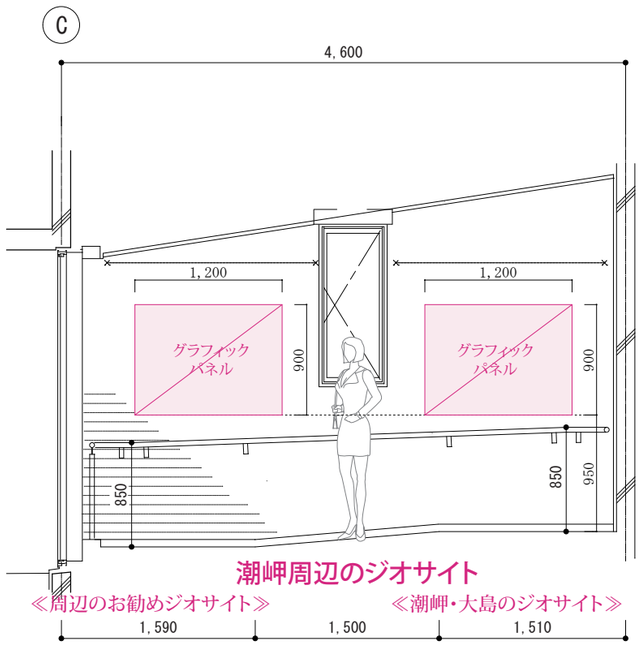
展示室（B）　西 面

公園名称	吉野熊野国立公園		
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所 展示整備工事		
図面名称	展示展開図-3	縮尺	1／50
年月日	平成25年9月	図面番号	B-05
会社名	中央開発株式会社	照査 / 設計	
事務所名	近畿地方環境事務所	照査 / 設計	

（A3判）



展望室　　北 面



スロープ　　西 面

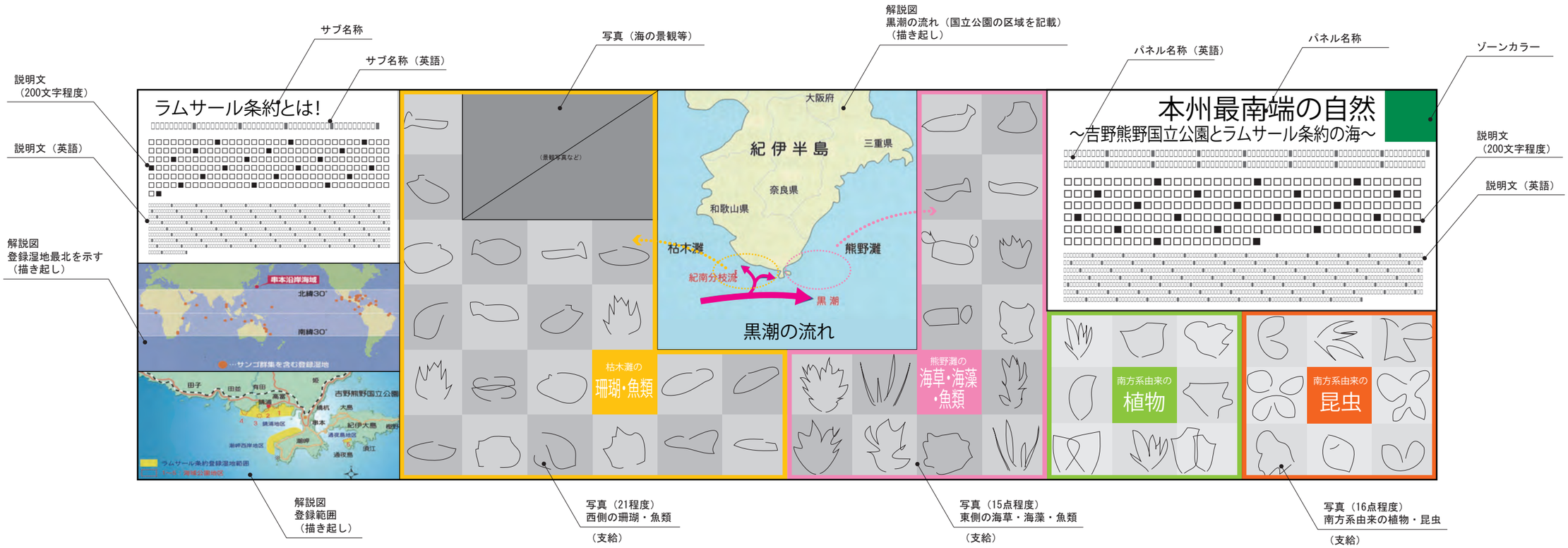
公園名称	吉野熊野国立公園		
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事		
図面名称	展示展開図-4	縮尺	1／50
年月日	平成25年9月	図面番号	B-06
会社名	中央開発株式会社	照査 / 設計	
事務所名	近畿地方環境事務所	照査 / 設計	

（A3判）

■設置場所：展示室（A）

※生物写真には、「和名」「英名」「学名」を記載する。
「和名」はフォントを大きく。
「英名」「学名」はフォントを小さく。

【本州最南端の自然　～吉野熊野国立公園とラムサール条約の海～】
生物の写真をメインとする。海の紹介をメインとし、黒潮がぶつかる西側に珊瑚が広がるラムサールの海（珊瑚・南方系の魚類等）、東側が海草とそこに棲む魚（海草・磯もの・魚類等）と海の多様性が分かる表示とする。
植物・昆虫等については、南方系の黒潮由来のものに焦点を当てる。
ラムサール登録湿地について、国立公園の紹介の中にまとめて（国立公園・地域の自然の魅力の一部として）紹介する。
ラムサール条約登録湿地範囲と海域公園地区等を図で示す。



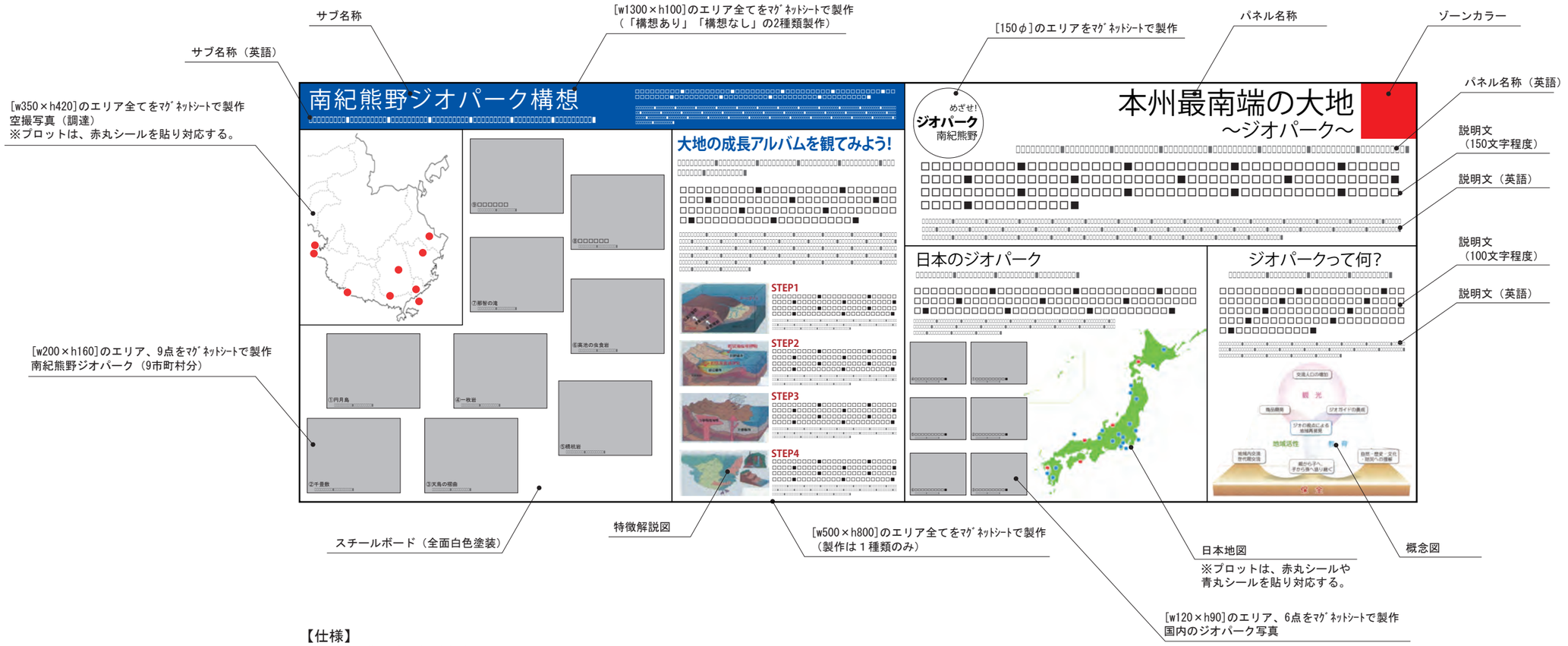
【仕様】
・サイズ：w3000×h900
・印　刷：インクジェット出力
・加　工：ラミネート加工
・パネル：木軸パネル貼り
・備　考：パネルの内容について、受注者は専門家に
　　監修を依頼すること。

公園名称	吉野熊野国立公園				
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事				
図面名称	グラフィック図-1		縮尺	1／10	
年月日	平成25年9月	図面番号	G-01		
会社名	中央開発株式会社		照査		設計
事務所名	近畿地方環境事務所		照査		設計

（A3判）

■設置場所：タタミ座周辺のスロープ

【本州最南端の大地　～ジオパーク～】
ジオパークの概念を説明し、現時点で世界ジオパークに認定されている国内の個所を説明する。
また、南紀熊野ジオパークについても紹介する。
ただし、将来的に変更が必要と思われる解説や写真などは、マグネットシートで印刷し、変更が可能な仕様とする。



【仕様】
- ・サイズ：w2400×h900
- ・印　刷：インクジェット出力
- ・加　工：ラミネート加工
- ・パネル：木軸パネル貼り（スチールボード裏打ち（白色塗装））
- ・付属品：マグネットシート出力
  - ①めざせ！ジオパーク　[150φ]＿＿＿＿1点
  - ②国内のジオパーク写真　[w120×h90]＿＿6点（国内のジオパーク）
  - ③南紀熊野ジオパーク構想　[w1300×h100]＿＿2点（構想あり、構想なし）
  - ④大地の成長アルバム　[w500×h800]＿＿1点
  - ⑤空撮写真　[w350×h420]＿＿1点
  - ⑥南紀熊野ジオパーク写真　[w200×h160]＿＿9点（9市町村分）
  - ⑦赤丸ｼｰﾙ・青丸　[16φ]＿＿＿＿＿＿一式

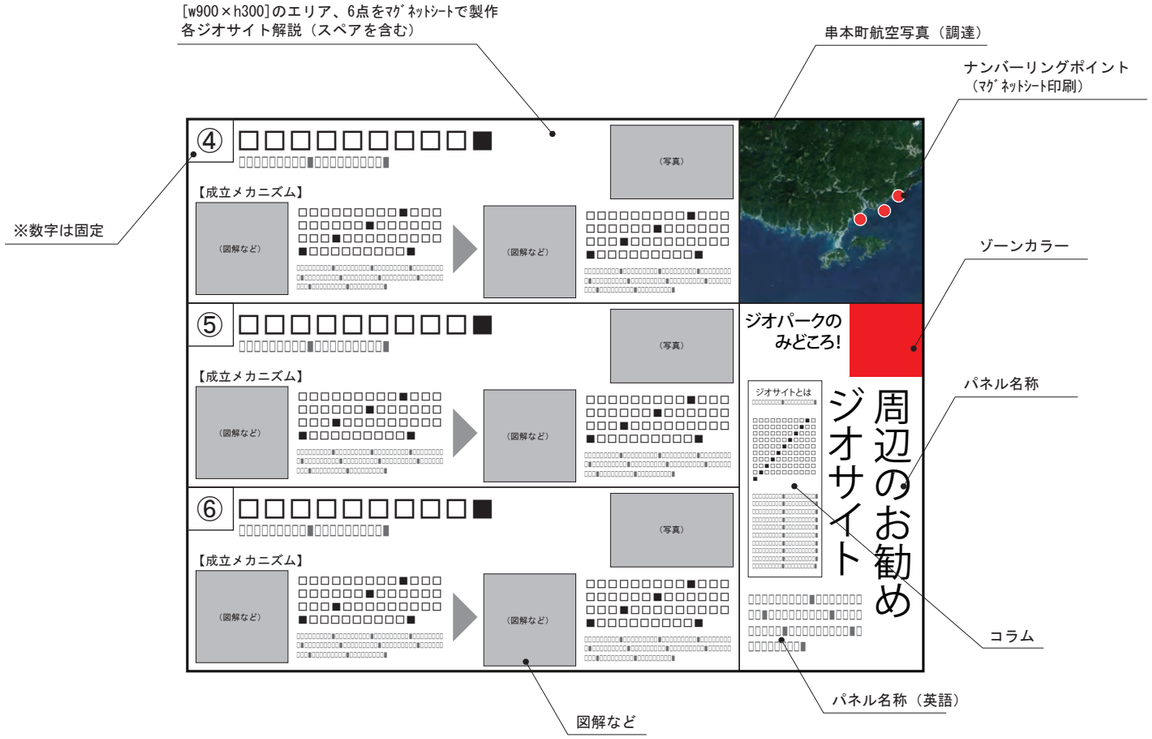
- ・備　考：航空写真以外（テキスト、写真、図のデータ）は支給となる。
  支給されたデータを編集・レイアウトを行うのみ。

公園名称	吉野熊野国立公園		
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事		
図面名称	グラフィック図-2	縮尺	1／10
年月日	平成25年9月	図面番号	G-02
会社名	中央開発株式会社	照査 / 設計	
事務所名	近畿地方環境事務所	照査 / 設計	

（A3判）

■設置場所：タタミ座周辺のスロープ

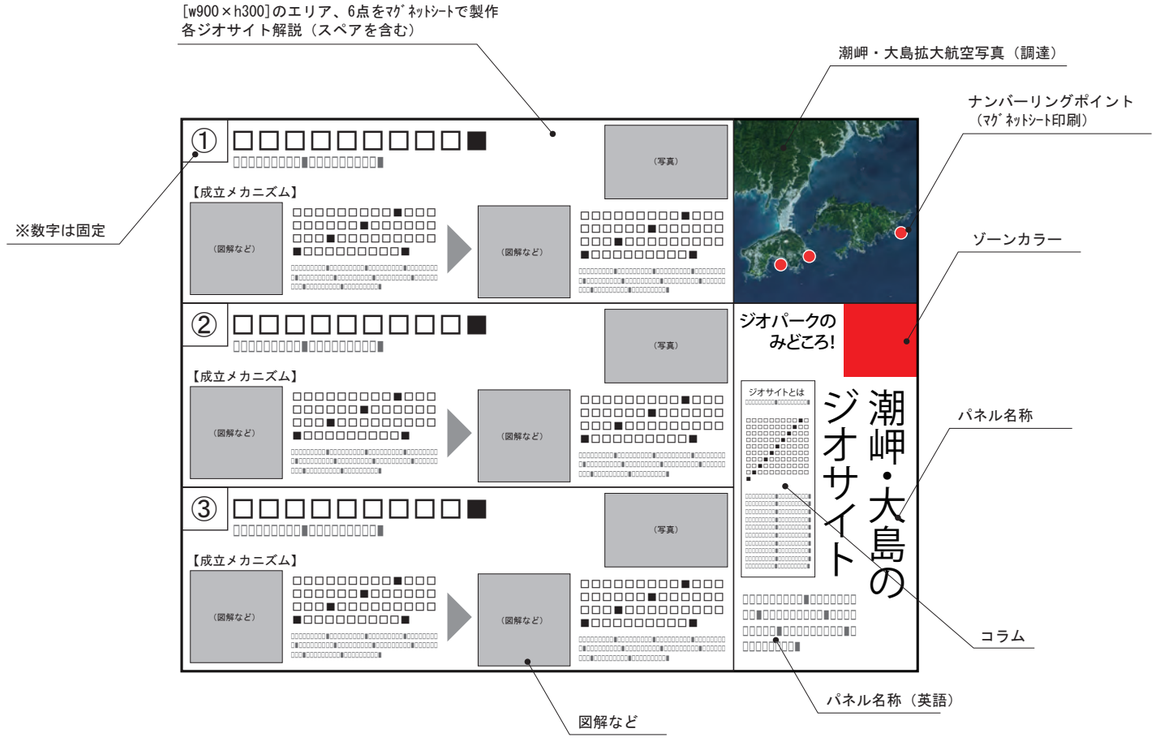
【周辺のお勧めジオサイト】
その他の串本町内のジオサイトを紹介し、その成立メカニズム等の図解を用いて解説する。
紹介する候補は、「橋杭岩」「さらし首層」「和保の海差扇状地堆積物」「九龍島」「荒船海岸の堆積岩」「田の崎の不整合」等。



【仕様】
・サイズ：w1200×h900
・印　刷：インクジェット出力
・加　工：ラミネート加工
・パネル：木軸パネル貼り（スチールボード裏打ち）
・付属品：マグネットシート出力
　　・ナンバーリングポイント　[20φ]＿＿＿＿6点（スペアを含む）
　　・各ジオサイト解説　　[w900×h300]＿＿6点（スペアを含む）

・備　考：航空写真以外（テキスト、写真、図のデータ）は支給となる。
　　支給されたデータを編集・レイアウトを行うのみ。

【潮岬・大島のジオサイト】
潮岬・大島のジオサイトを紹介し、その成立メカニズム等を図解を用いて解説する。
紹介する候補は、「潮岬・大島の成り立ち」「火成活動」「海岸段丘」「陸繋島」「海金剛」等。



【仕様】
・サイズ：w1200×h900
・印　刷：インクジェット出力
・加　工：ラミネート加工
・パネル：木軸パネル貼り（スチールボード裏打ち）
・付属品：マグネットシート出力
　　・ナンバーリングポイント　[20φ]＿＿＿＿6点（スペアを含む）
　　・各ジオサイト解説　　[w900×h300]＿＿6点（スペアを含む）

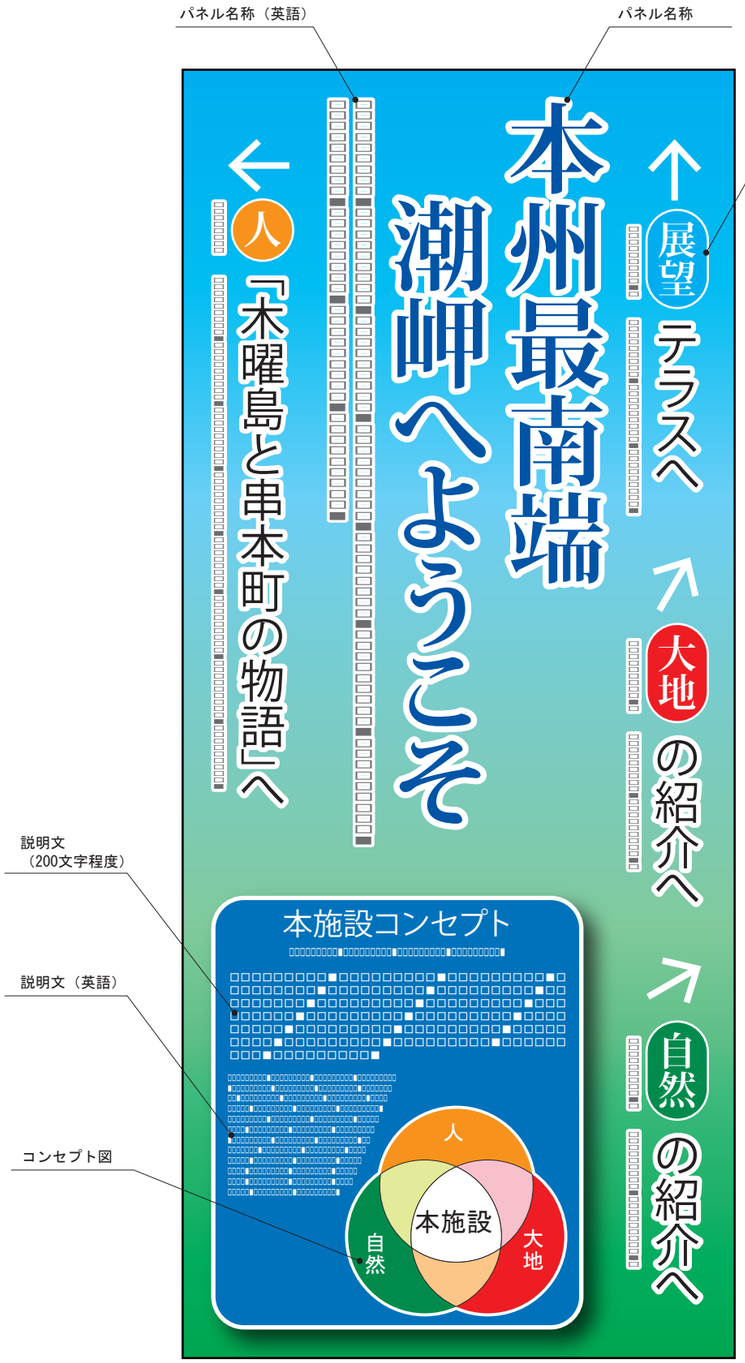
・備　考：航空写真以外（テキスト、写真、図のデータ）は支給となる。
　　支給されたデータを編集・レイアウトを行うのみ。

公園名称	吉野熊野国立公園		
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事		
図面名称	グラフィック図-3	縮尺	1／10
年月日	平成25年9月	図面番号	G-03
会社名	中央開発株式会社	照査 / 設計	
事務所名	近畿地方環境事務所	照査 / 設計	

（A3判）

■設置場所：展示室（A）

【施設案内】
導入部の目立つ個所にあるため、本施設のタイトルサインとし、各ゾーンへの誘導サインの機能も持たせる。
また、本館の趣旨や、３つの展示コンセプトを説明する。
　○　人（木曜島：地域史ゾーン）
　○　自然（国立公園・地域の自然魅力紹介ゾーン）
　○　大地（ジオパークゾーン）



【仕様】
・サイズ：w900×h2100
・印　刷：インクジェット印刷
・加　工：ラミネート加工
・パネル：造作什器貼り

【周辺施設紹介】
当施設を中心とした、周辺の施設（串本海中公園センター、トルコ記念館、日米修交記念館等）概要を紹介する。また、自然の見どころ（橋杭岩、大島、海金剛、樫野崎、九龍島、古座川等）の表記はマーカー等で工夫し、観光の誘導を図る。なお、印刷面は、ホワイトボードシートに印刷し、水性マーカーで書き込みができ、またマグネットが留められるようにする。

【仕様】
・サイズ：w900×h900
・印　刷：インクジェット印刷
・加　工：ホワイトボードシート専用ラミネート加工
・パネル：造作什器貼り（スチールボード裏打ち）

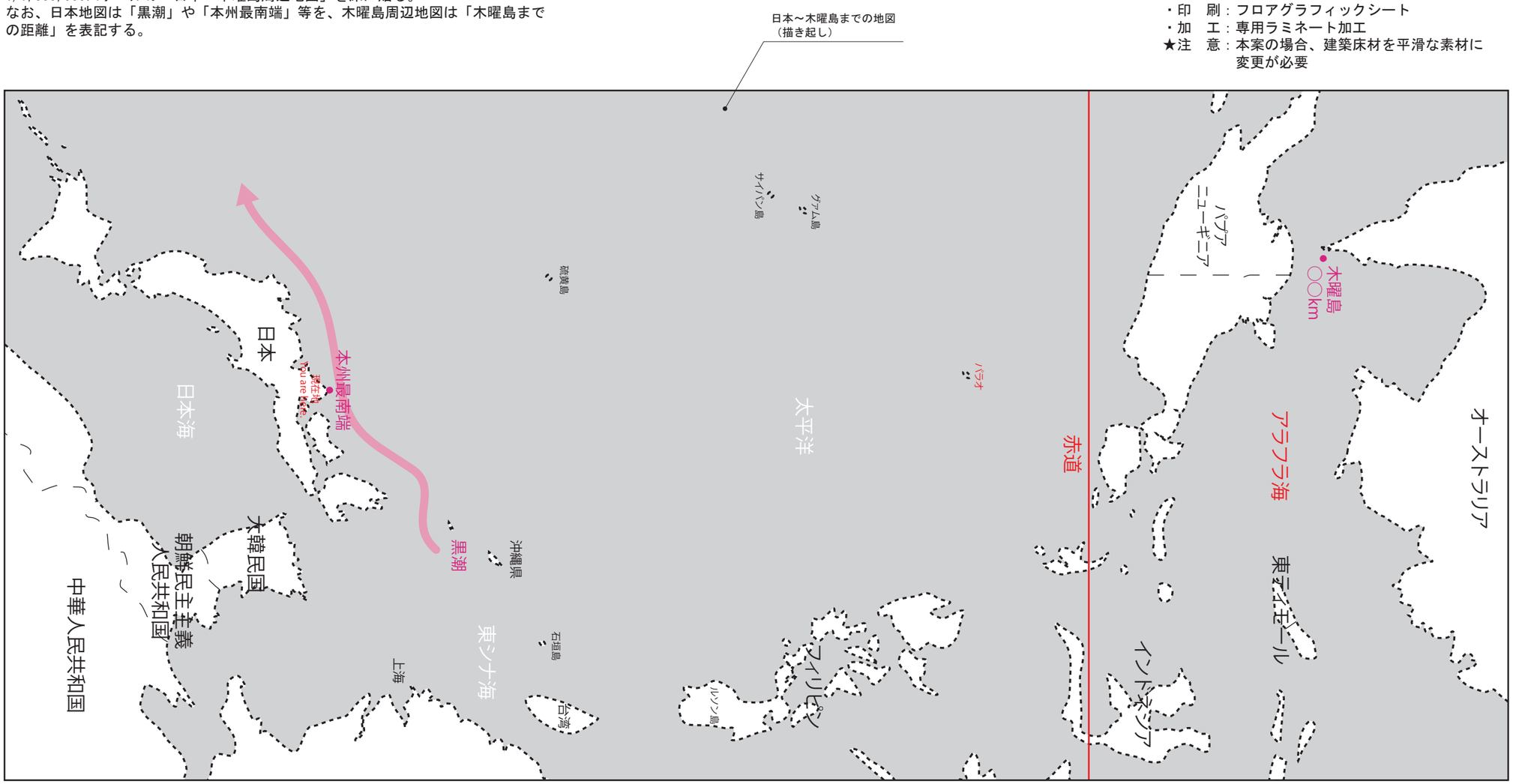
公園名称	吉野熊野国立公園		
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事		
図面名称	グラフィック図-4	縮尺	1／10
年月日	平成25年9月	図面番号	G-04
会社名	中央開発株式会社	照査 / 設計	
事務所名	近畿地方環境事務所	照査 / 設計	

（A3判）

■設置場所：展示室（A）、テラス展望室

【木曜島までの距離】
1/1,000,000スケールの「日本～木曜島周辺地図」を床に貼る。
なお、日本地図は「黒潮」や「本州最南端」等を、木曜島周辺地図は「木曜島までの距離」を表記する。

【仕様】
・サイズ：w3000×h6540
・印　刷：フロアグラフィックシート
・加　工：専用ラミネート加工
★注　意：本案の場合、建築床材を平滑な素材に変更が必要



【必須表記】
・赤道
・日本近海の「黒潮」
・代表的な地名
・代表的な島々（硫黄島、サイパン島、グァム島、パラオ　等）
・現在地

※日本語と英語を併記する。

【本州最南端の展望】
興味深くテラスに誘導するために、この先が本州最南端であることをアピールする表示を床に貼る。

【仕様】
・サイズ：w1800×h300
・印　刷：フロアグラフィックシート
・加　工：専用ラミネート加工

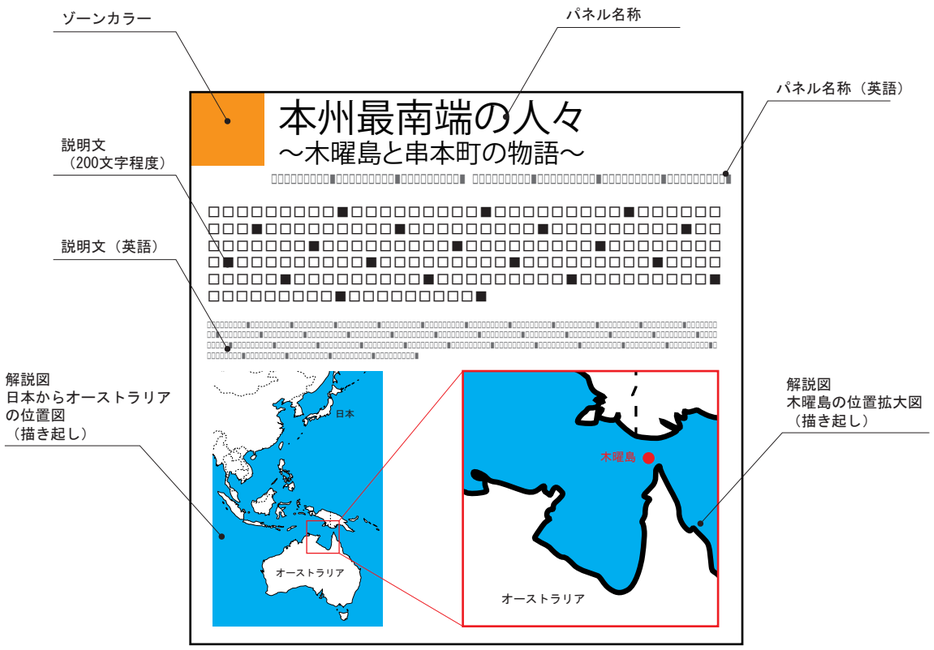
※日本語と英語を併記する。

公園名称	吉野熊野国立公園					
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事					
図面名称	グラフィック図-5		縮尺	1／20		
年月日	平成25年9月	図面番号	G-05			
会社名	中央開発株式会社		照査		設計	
事務所名	近畿地方環境事務所		照査		設計	

（A3判）

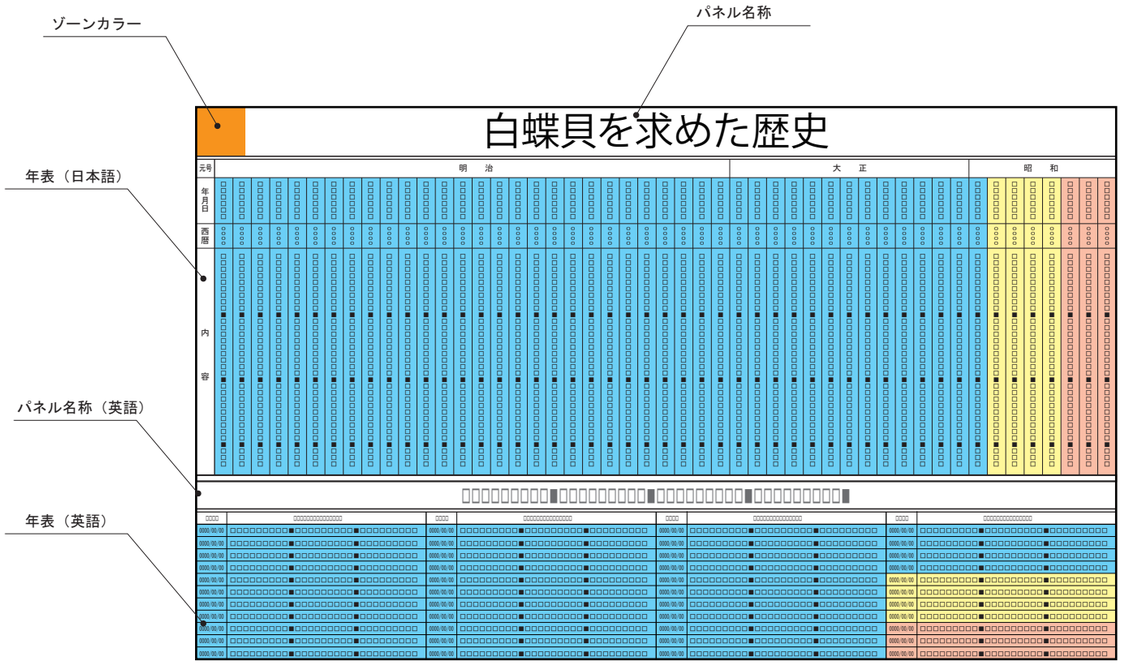
■設置場所：展示室（B）

【本州最南端の人々～木曜島と串本町の物語～】
明治から昭和にかけて、串本町の多くの若者が、オーストリア北部の木曜島及びアラフラ海に出向き、白蝶貝等の貝採取の事業に携わっていた。
串本町から遠方であることもさることながら、なぜその場所で「世界で最も危険な仕事」と言われた、潜水による貝採取を行っていたのかを、時代背景等を踏まえて説明する。



【仕様】
・サイズ：w900×h900
・印　刷：インクジェット出力
・加　工：ラミネート加工
・パネル：木軸パネル貼り

【白蝶貝を求めた歴史】
明治から昭和にかけて、木曜島やアラフラ海で行われていた、白蝶貝等の採取事業の歴史を年表で説明する。
なお、後の展示パネルと年代のリンクを図るために、
「第一期（明治～昭和6年）」「第二期（戦前：昭和6年～16年）」
「第三期（戦後：昭和28年～36年）」を色分けで表現する。



【仕様】
・サイズ：w1500×h900
・印　刷：インクジェット出力
・加　工：ラミネート加工
・パネル：木軸パネル貼り

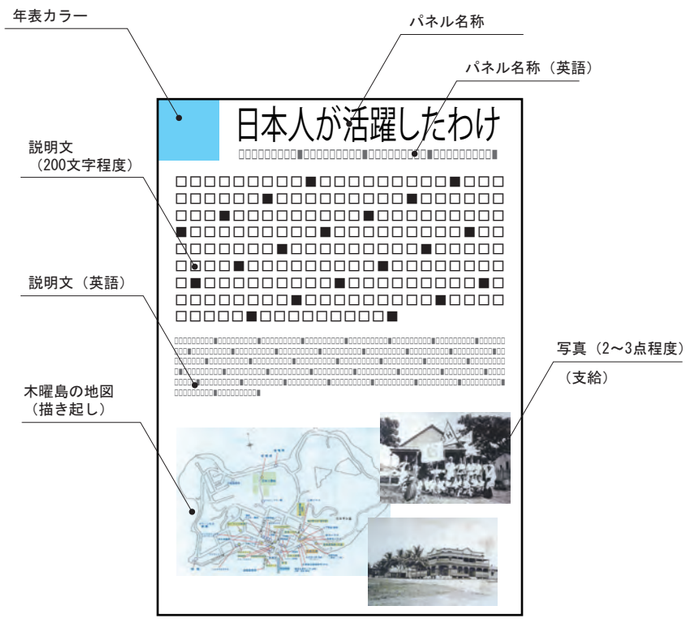
公園名称	吉野熊野国立公園		
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事		
図面名称	グラフィック図-6	縮尺	1／10
年月日	平成25年9月	図面番号	G-06
会社名	中央開発株式会社	照査 / 設計	
事務所名	近畿地方環境事務所	照査 / 設計	

（A3判）

■設置場所：展示室（B）＿ガラスケース内

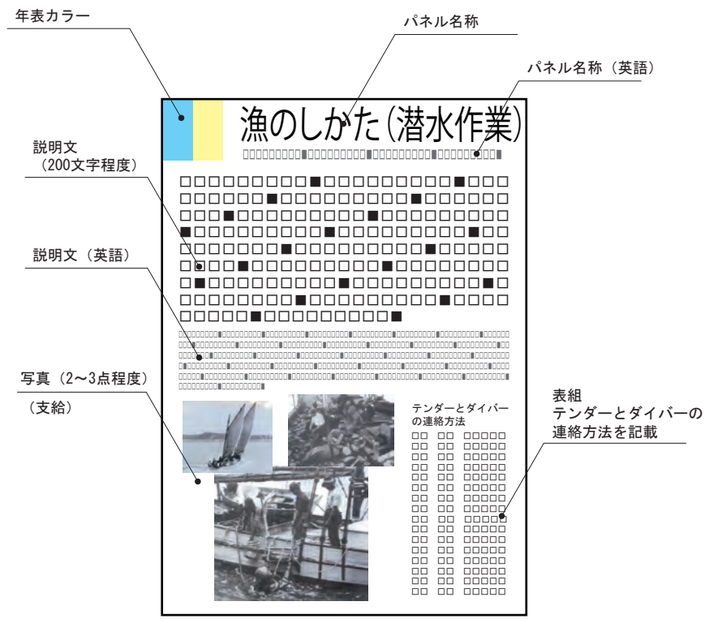
※写真には、出典撮影年等を記載する。

①
【日本人が活躍したわけ】
なぜ日本人が木曜島で、潜水作業による貝採取で成果を上げられたのかを、日本人の特性から説明する。
また、その背景に、明治以降の貨幣経済の起こりについても説明する。
合わせて、島の日本人街や町のくらしを紹介する。



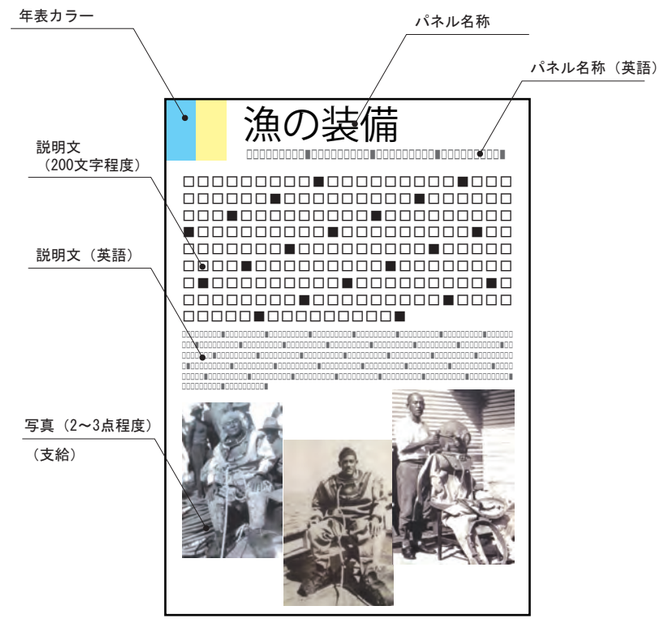
【仕様】
・サイズ：A1
・印　刷：インクジェット出力
・加　工：ラミネート加工
・パネル：アルミフレーム貼り

②
【漁のしかた】
漁の人員構成や体制、１日の作業内容等を解説する。この時代は人力で空気を送ったため、ダイバーとテンダーは信頼関係が必要である。そのため、その多くは親族であったことを説明する。
また、専門用語等も紹介し、後の展示物にも役立てる。



【仕様】
・サイズ：A1
・印　刷：インクジェット出力
・加　工：ラミネート加工
・パネル：アルミフレーム貼り

③
【漁の装備】
漁を行う際の装備について解説する。
全デレ、半デレ、裸ダイバー等の潜水を行う三種類の方法があったことを紹介する。
また、写真を使い、各装備の名称も解説する。



【仕様】
・サイズ：A1
・印　刷：インクジェット出力
・加　工：ラミネート加工
・パネル：アルミフレーム貼り

《展示品（案）》

・為替関係書類

・船員手帳、組合員手帳

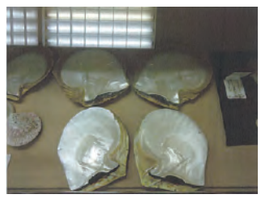
・送金為替

・組合員手帳

・加工した後の白蝶貝

・採貝など

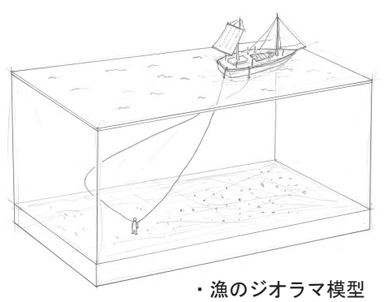
・高瀬貝


・白蝶貝

・採貝など

・採貝など

・ダイバースーツ
・ダイバーヘルメット


・漁のジオラマ模型

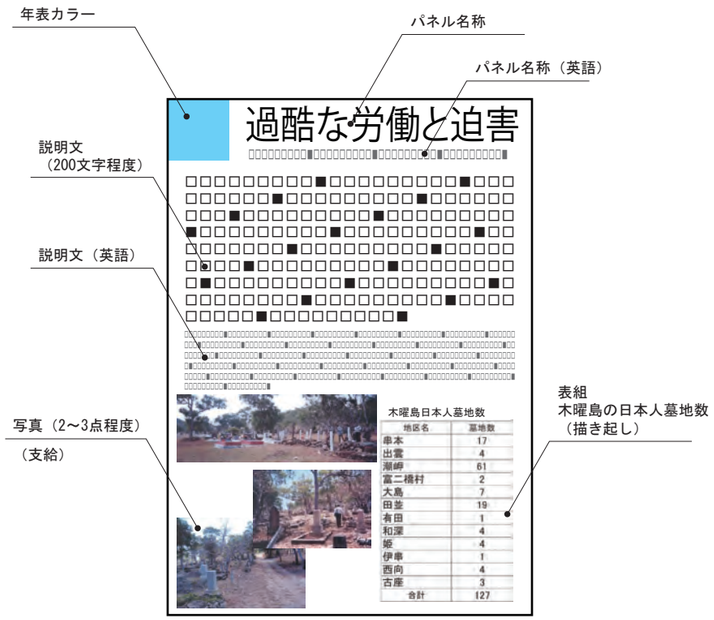
公園名称	吉野熊野国立公園				
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事				
図面名称	グラフィック図-7（展示品（案））		縮尺	1／10	
年月日	平成25年9月	図面番号	G-07		
会社名	中央開発株式会社		照査		設計
事務所名	近畿地方環境事務所		照査		設計

（A3判）

■設置場所：展示室（B）＿ガラスケース内

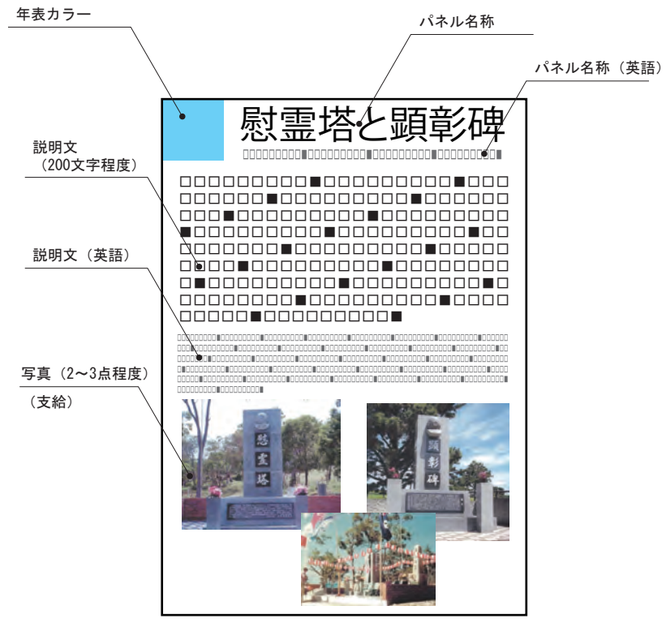
※写真には、出典撮影年等を記載する。

④
【過酷な労働と迫害】
暗く寒い海底で、日が落ちるまで働き、運が悪ければ潜水病になり、重度な障害や、時には死に至った。
また、日本人の台頭を脅威に感じ、移民制限法により迫害を受け、命を落すこととなる。162名の当町出身者が命を落した。
また、日本人墓地についてもふれる。



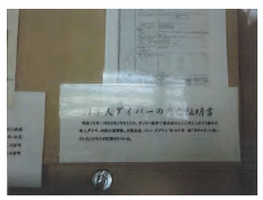
【仕様】
・サイズ：A1
・印　刷：インクジェット出力
・加　工：ラミネート加工
・パネル：アルミフレーム貼り

⑤
【慰霊塔と顕彰碑】
日本人移民渡航100年を記念して、白蝶貝採取事業に殉じた日本人たちの魂を慰めるために慰霊塔が建てられたことを説明を行う。なお建立場所も説明する。
また、先人たちの偉業を顕彰し、潮岬に同じ形・大きさの顕彰碑が立てられた等の説明を行う。
日本人墓地についてもふれる。



【仕様】
・サイズ：A1
・印　刷：インクジェット出力
・加　工：ラミネート加工
・パネル：アルミフレーム貼り

《展示品（案）》



・死亡証明書

・書籍資料など

・慰霊塔建設時の模様

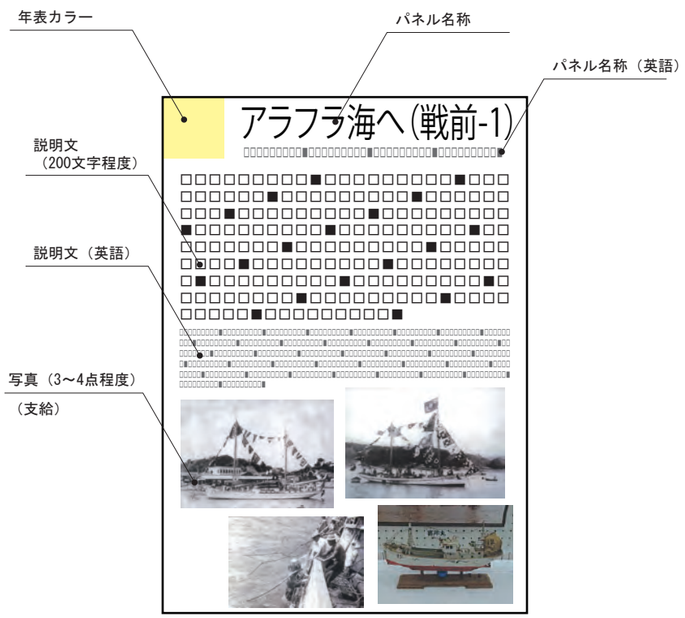
公園名称	吉野熊野国立公園				
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事				
図面名称	グラフィック図-8（展示品（案））	縮尺	1／10		
年月日	平成25年9月	図面番号	G-08		
会社名	中央開発株式会社	照査		設計	
事務所名	近畿地方環境事務所	照査		設計	

（A3判）

■設置場所：展示室（B）＿ガラスケース内

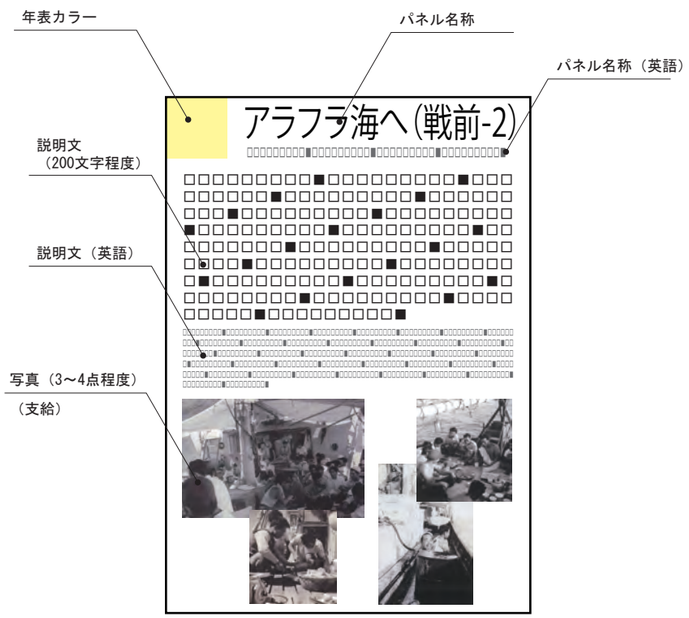
※写真には、出典撮影年等を記載する。

⑥
【アラフラ海へ（戦前-1）】
昭和になると技術の進歩により、採貝船に機関が設置され行動範囲も広がり、またコンプレッサーによる空気供給が可能となった。採貝量の増加につながったが、同時に資源の枯渇を招き、新たな漁場への開拓が求められた。



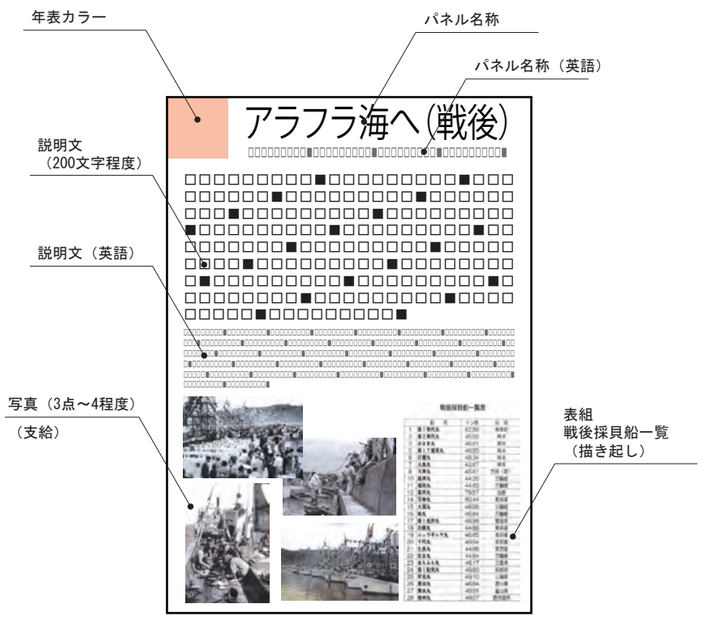
【仕様】
・サイズ：A1
・印　刷：インクジェット出力
・加　工：ラミネート加工
・パネル：アルミフレーム貼り

⑦
【アラフラ海へ（戦前-2）】
移民法が成立したことにより、木曜島に上陸できず、過酷な洋上ハウスで暮さねばならなかった。なお、移民法について詳しく説明する。
戦争が終わり、170隻あった船を全て失い、パラオに引き上げることとなる。



【仕様】
・サイズ：A1
・印　刷：インクジェット出力
・加　工：ラミネート加工
・パネル：アルミフレーム貼り

⑧
【アラフラ海へ（戦後）】
戦後、マッカーサーラインにより著しく移動の制限を受けたが、昭和27年4月に撤廃され再び海洋での自由が確保された。
25隻の船に絞って船団を組んだ。船には番号が書いてあり、これで戦前か戦後かの船が見分けられた。
アラフラ景気に沸くほどであったが、より深い50mも潜らねばならなくなり、それにつれて、作業時間も限られ、採貝量の減少、潜水病になることも多くなる。
プラスティック製品の出現により、昭和37年にアラフラ船団の歴史が終焉する。



【仕様】
・サイズ：A1
・印　刷：インクジェット出力
・加　工：ラミネート加工
・パネル：アルミフレーム貼り

《展示品（案）》

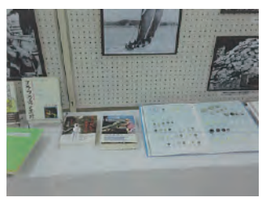
・アラフラ関係資料

・紀洋丸木型

・海外送金計算書(?)

・書籍資料

・潜水時の錘

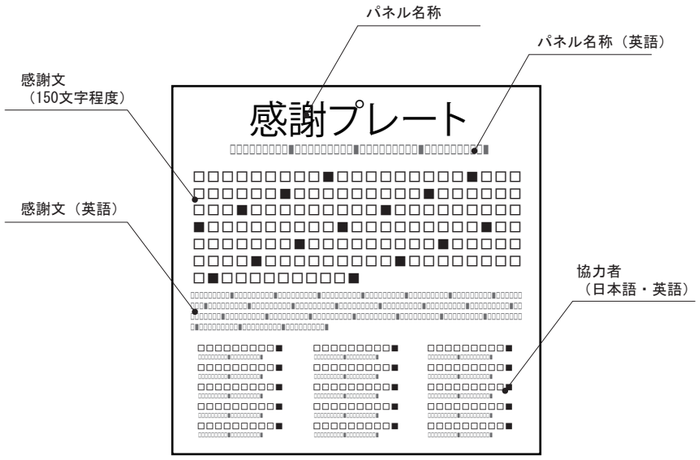

・書籍資料など

公園名称	吉野熊野国立公園				
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事				
図面名称	グラフィック図-9（展示品（案））		縮尺	1／10	
年月日	平成25年9月	図面番号	G-09		
会社名	中央開発株式会社		照査		設計
事務所名	近畿地方環境事務所		照査		設計

（A3判）

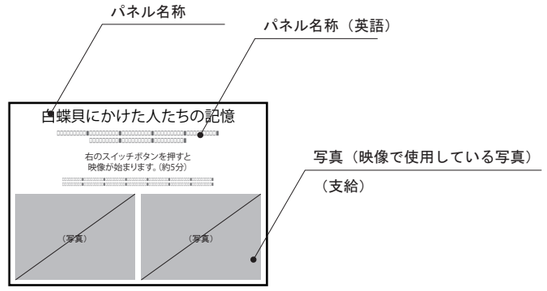
■設置場所：風除室、展示室（B）

【感謝プレート】
展示物等の提供や協力した人・組織へ、感謝の言葉と共に、その名称を紹介する。



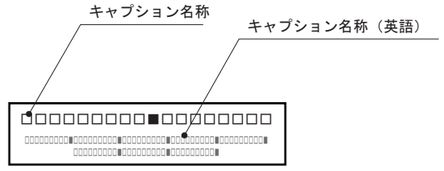
【仕様】
・サイズ：w600×h600
・印　刷：インクジェット出力
・加　工：ラミネート加工
・パネル：5㎜アクリル板貼り

【白蝶貝にかけた人たちの記憶（映像紹介）】
映像ソフトの内容等を表記する。
また、スタートボタンを押すと映像が始まる事も表記する。



【仕様】
・サイズ：A3判
・印　刷：インクジェット出力
・加　工：ラミネート加工
・備　考：什器に備え付けた専用ケースに収納し展示

【キャプション（共通）】
展示品の名称を説明する。

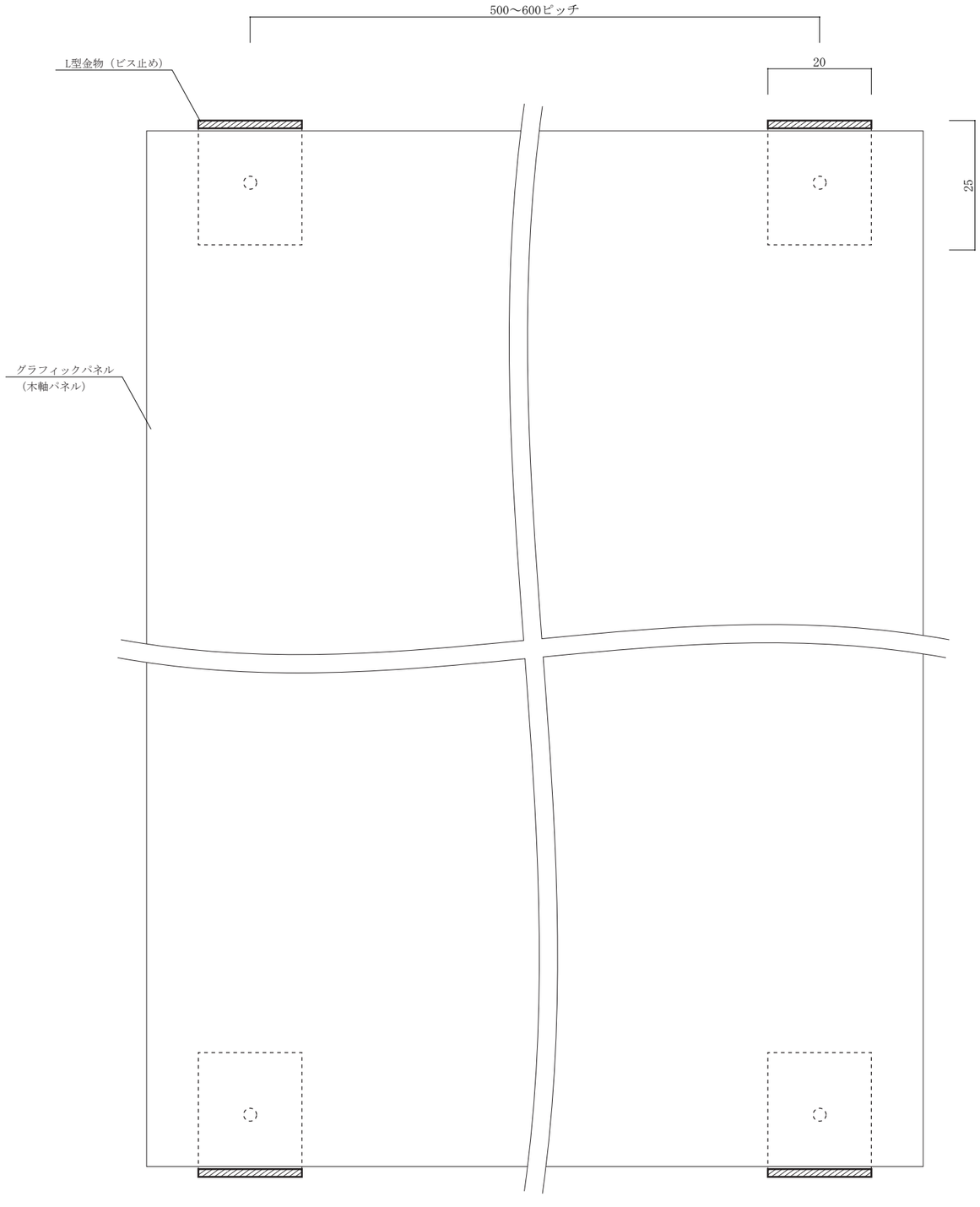


【仕様】
・サイズ：w90×h20
・印　刷：インクジェット出力
・加　工：ラミネート加工
・パネル：5㎜アクリル板貼り
・数　量：１００点
・備　考：アクリル板L型加工支持台含む。
　　ﾀﾞｲﾊﾞｰｽｰﾙについては、当時のものではなく
　　「参考展示」と明記。

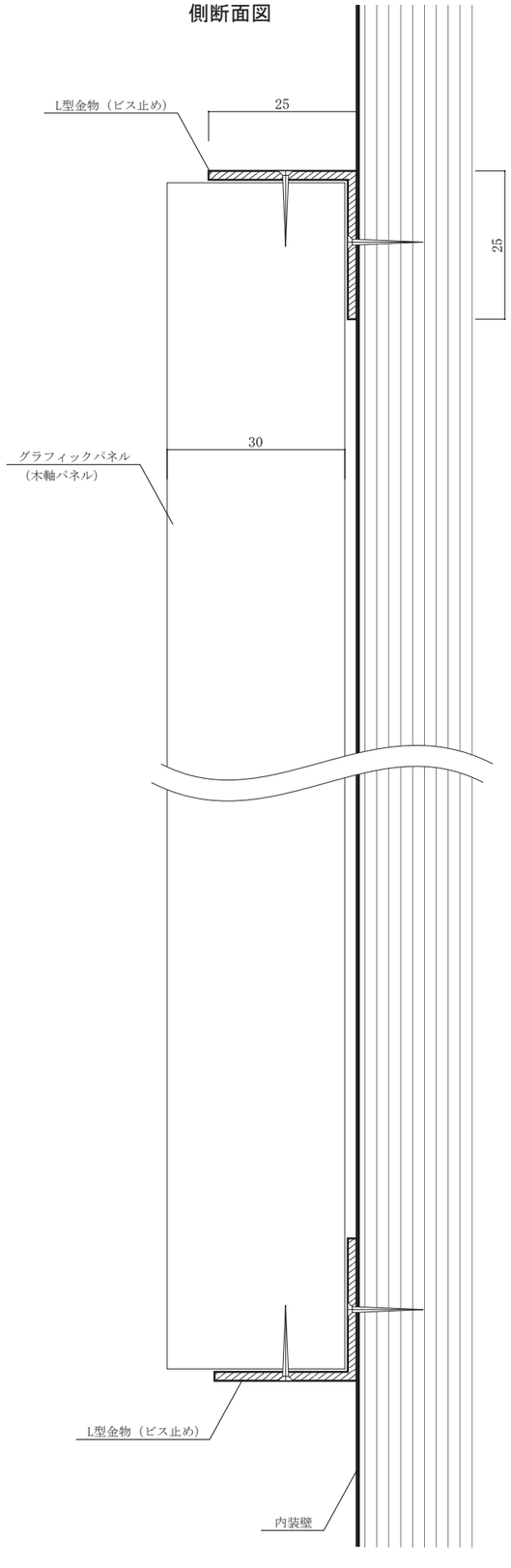
公園名称	吉野熊野国立公園					
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所 展示整備工事					
図面名称	グラフィック図-10		縮尺	1／10 1／2		
年月日	平成25年9月	図面番号	G-10			
会社名	中央開発株式会社		照査		設計	
事務所名	近畿地方環境事務所		照査		設計	

（A3判）

正面図



側断面図



■対象パネル

- 本州最南端の自然
  ～吉野熊野国立公園と
  ラムサール条約の海～
- 本州最南端の大地　～ジオパーク～
- 潮岬・大島のジオサイト
- 周辺のお勧めジオサイト
- 本州最南端の人
  ～木曜島と串本町の物語～
- 白蝶貝を求めた歴史

※基本は、パネルの上下で固定とするが、パネルが長い場合は、左右でも補助的に固定する。

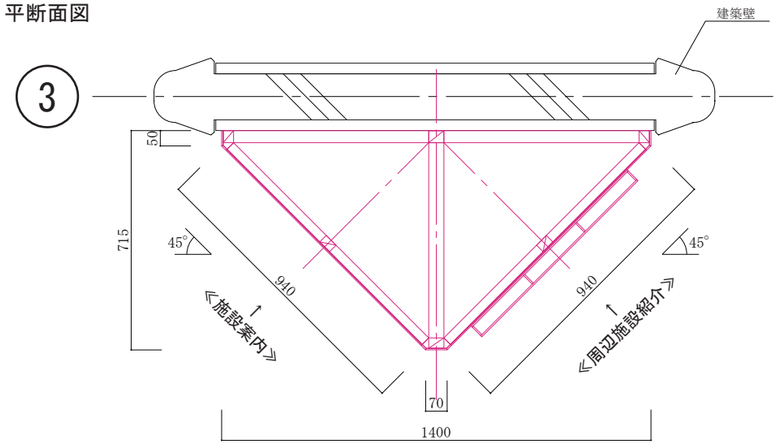
公園名称	吉野熊野国立公園				
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事				
図面名称	パネル取付図（共通仕様）		縮尺	1／1	
年月日	平成25年9月	図面番号	G-11		
会社名	中央開発株式会社		照査		設計
事務所名	近畿地方環境事務所		照査		設計

（A3判）

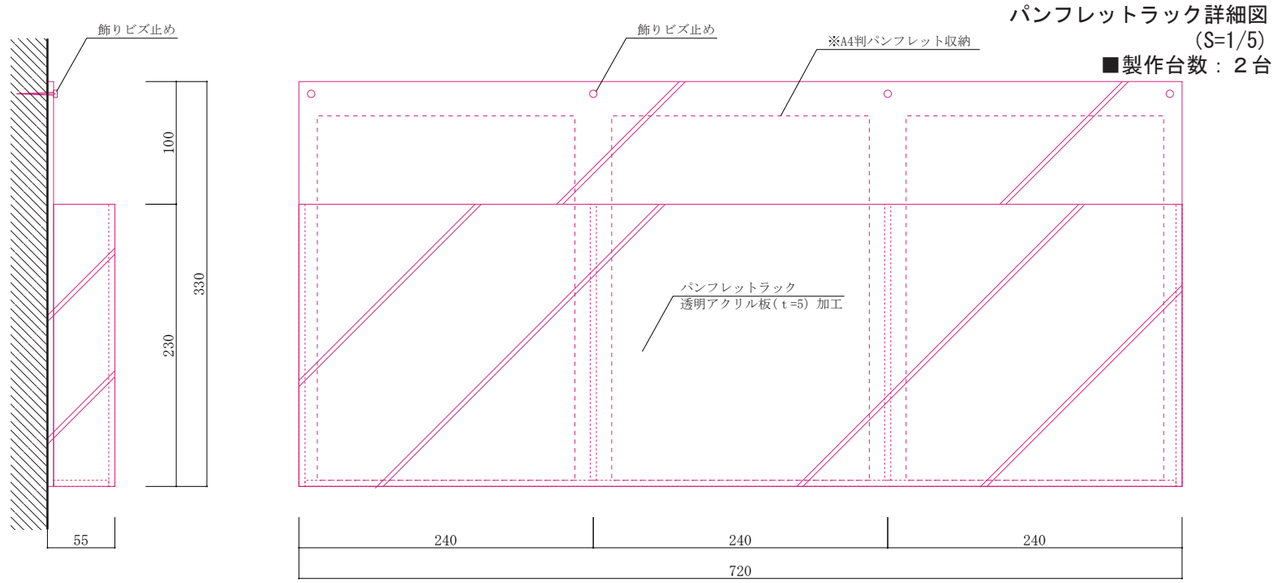
■設置場所：展示室（A）

■製作台数：１台

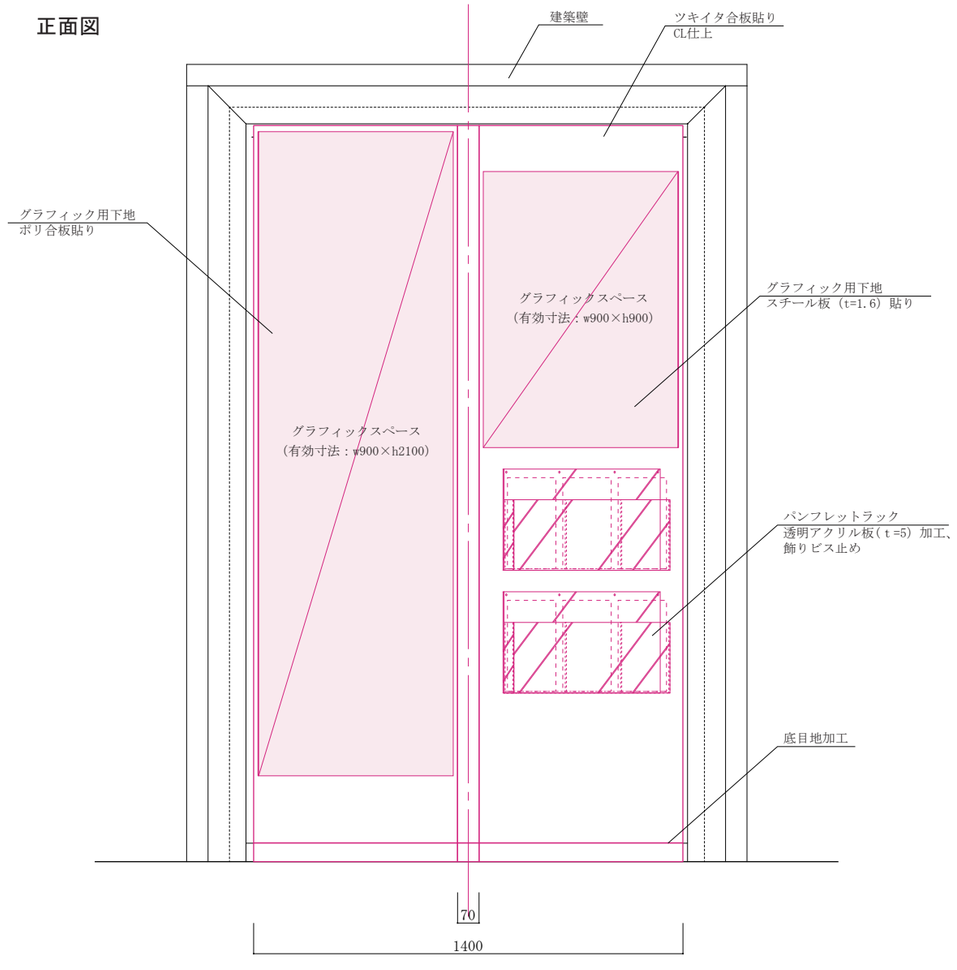
平断面図



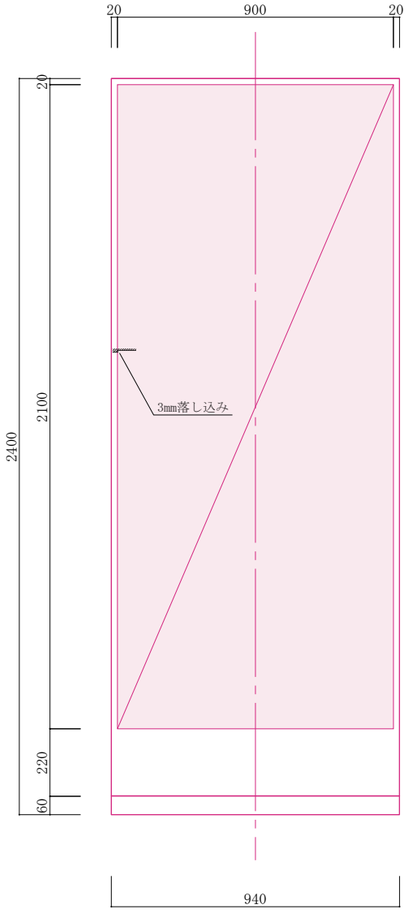
パンフレットラック詳細図
(S=1/5)
■製作台数：２台



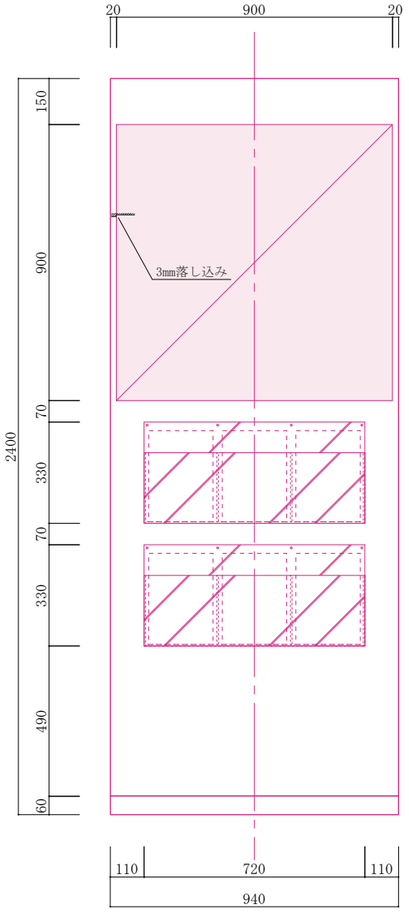
正面図



正面図≪施設案内≫



正面図≪周辺施設紹介≫



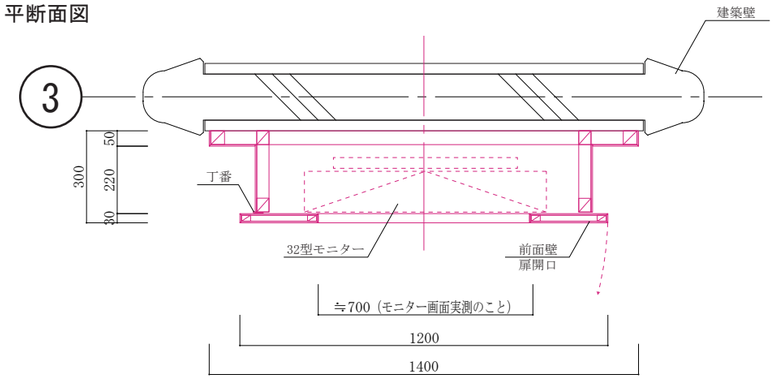
公園名称	吉野熊野国立公園		
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事		
図面名称	什器造作図-1（施設案内等什器）	縮尺	1／20 1／5
年月日	平成25年9月	図面番号	Z-01
会社名	中央開発株式会社	照査 / 設計	
事務所名	近畿地方環境事務所	照査 / 設計	

（A3判）

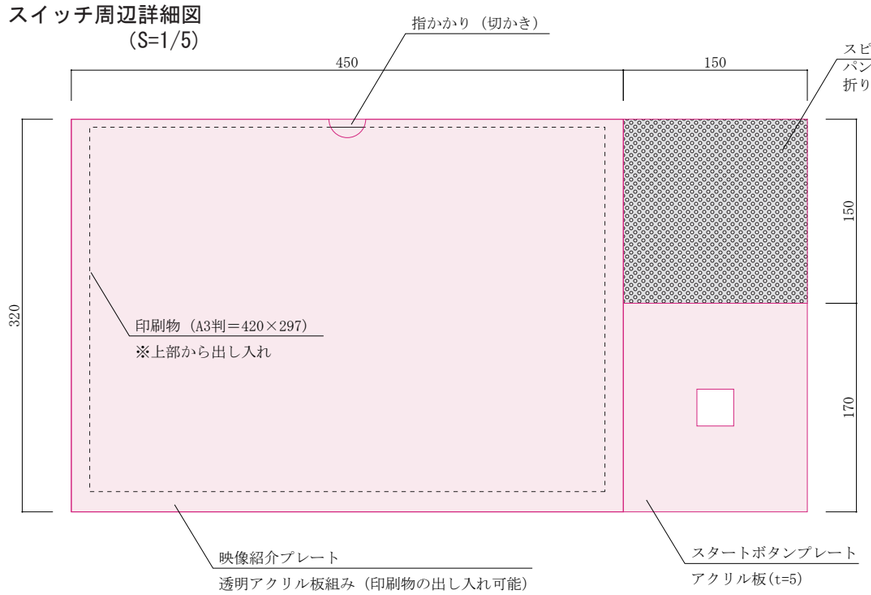
■設置場所：展示室（B）

■製作台数：１台

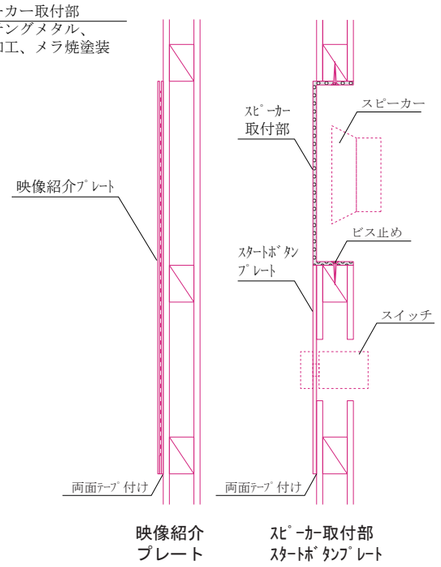
平断面図



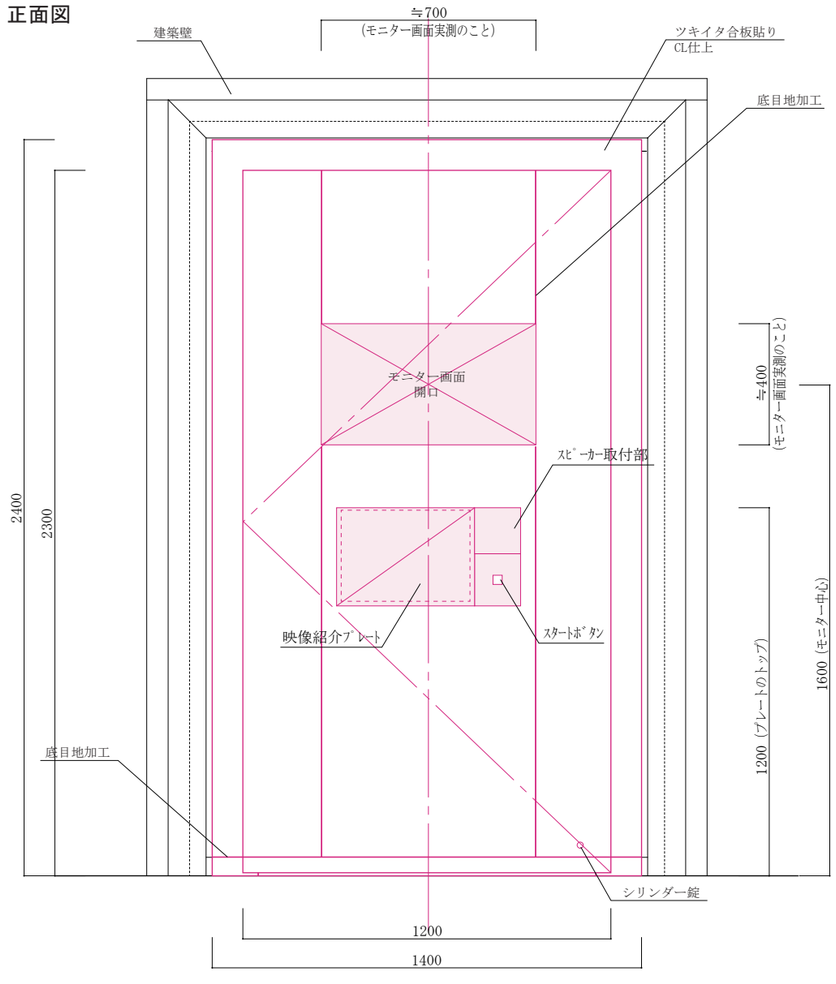
スイッチ周辺詳細図 (S=1/5)



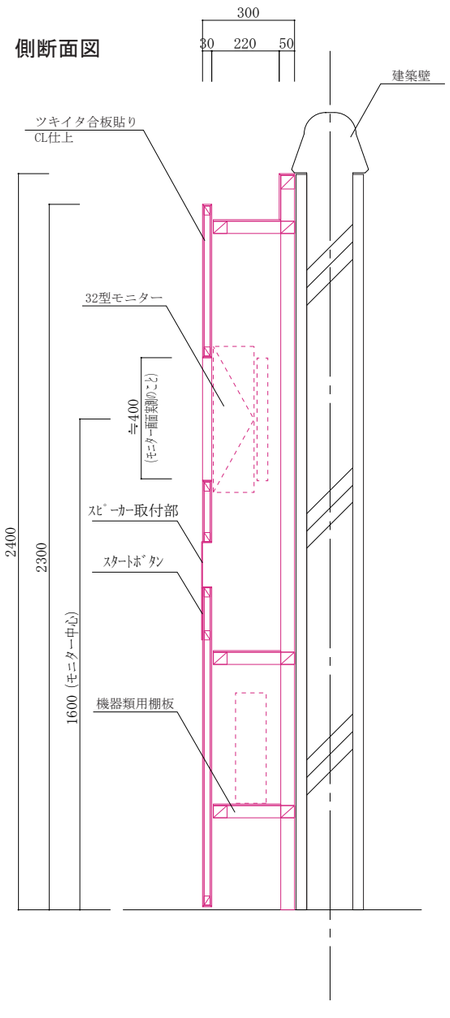
各断面形状



正面図



側断面図



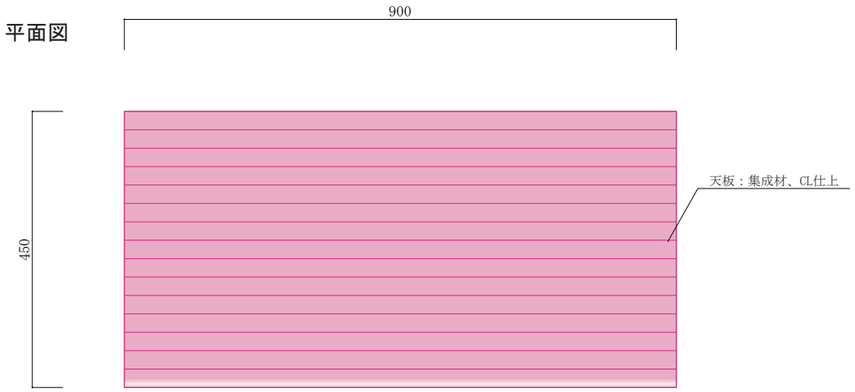
公園名称	吉野熊野国立公園		
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事		
図面名称	什器造作図-2（映像装置什器）	縮尺	1／20 1／5
年月日	平成25年9月	図面番号	Z-02
会社名	中央開発株式会社	照査 / 設計	
事務所名	近畿地方環境事務所	照査 / 設計	

（A3判）

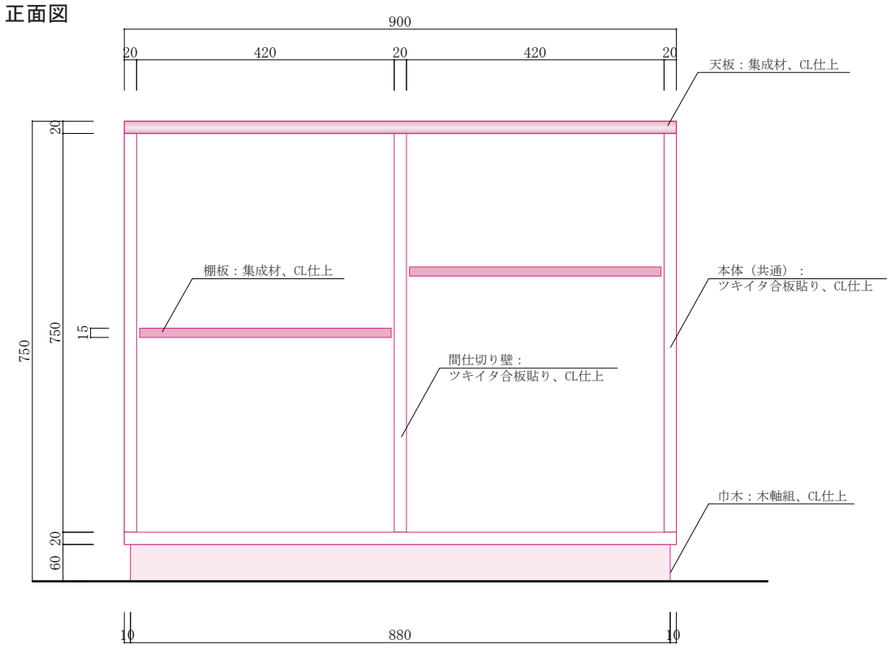
■設置場所：展示室（B）

■製作台数：１台

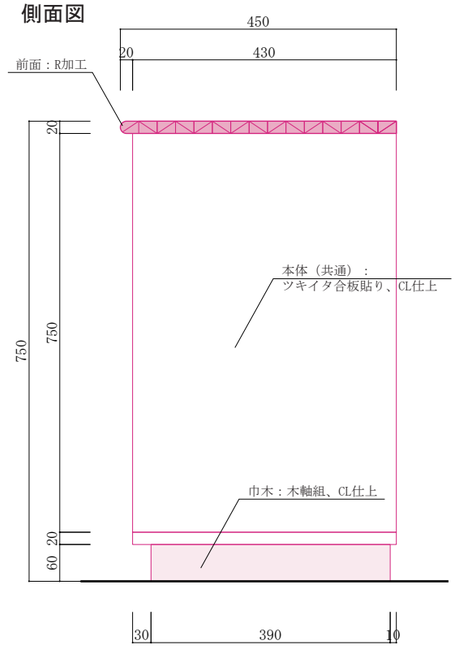
平面図



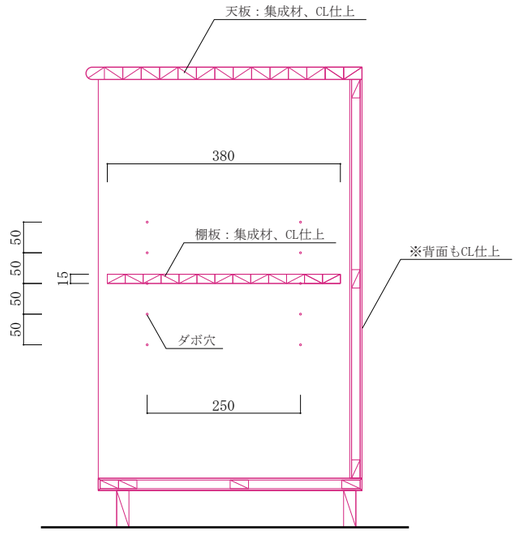
正面図



側面図



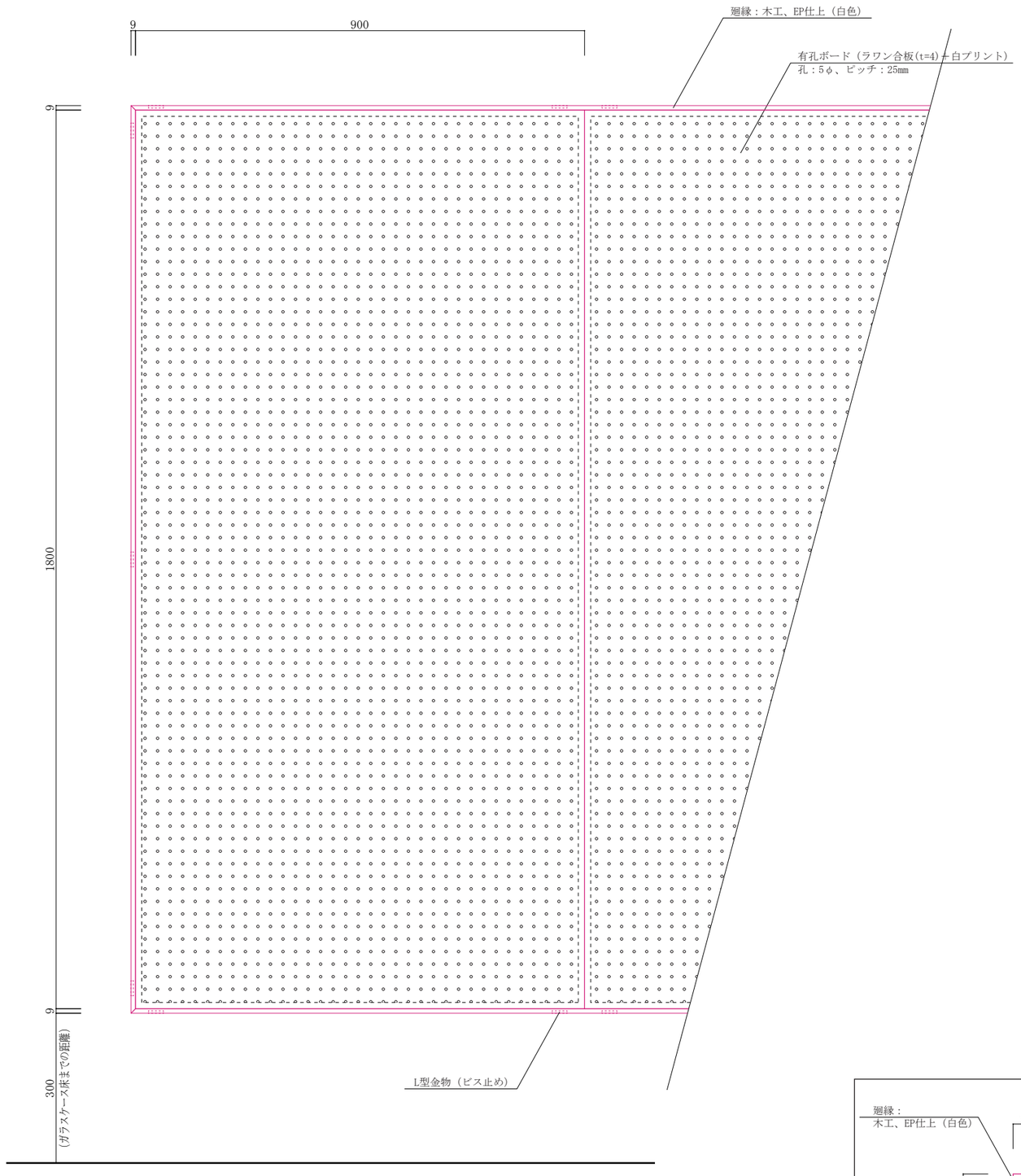
側断面図



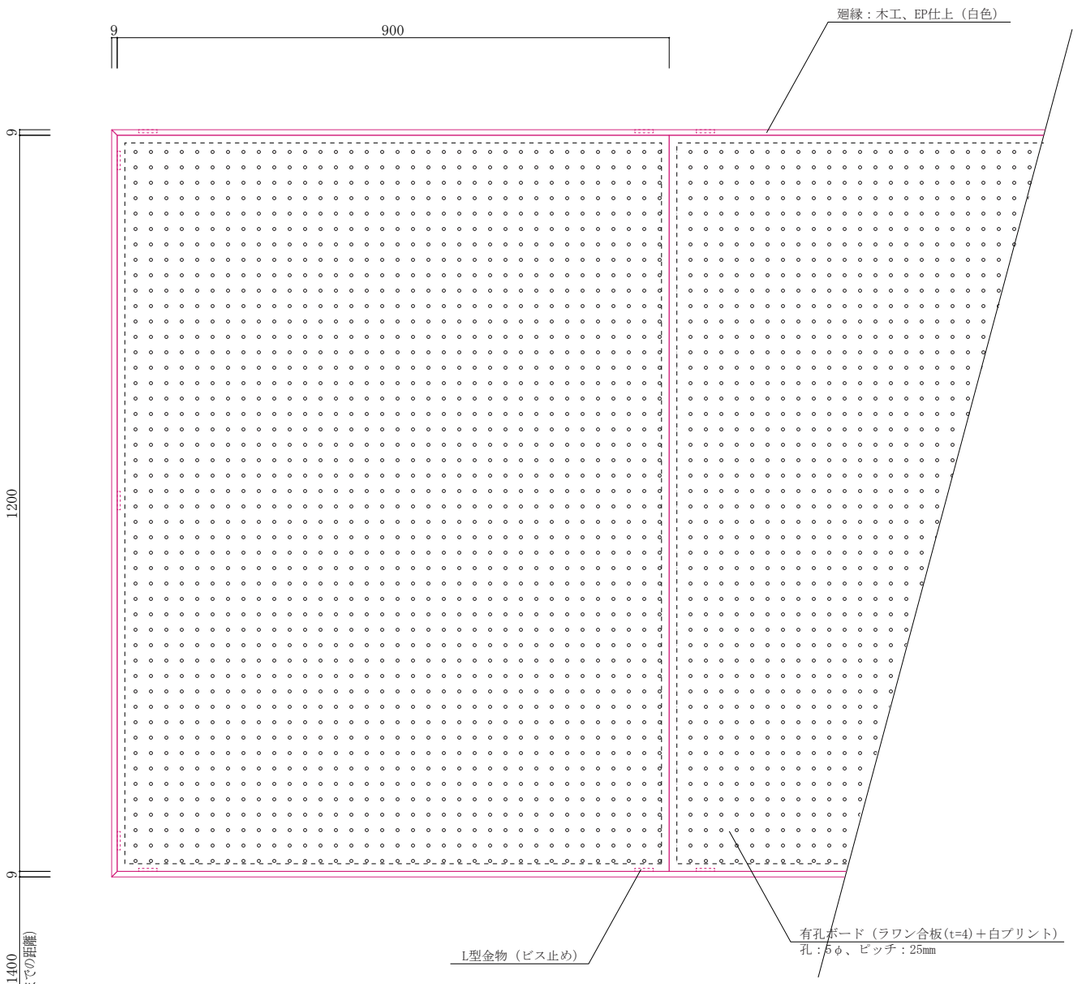
公園名称	吉野熊野国立公園		
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事		
図面名称	什器造作図-3（本棚兼閲覧台）	縮尺	1／10
年月日	平成25年9月	図面番号	Z-03
会社名	中央開発株式会社	照査 / 設計	
事務所名	近畿地方環境事務所	照査 / 設計	

（A3判）

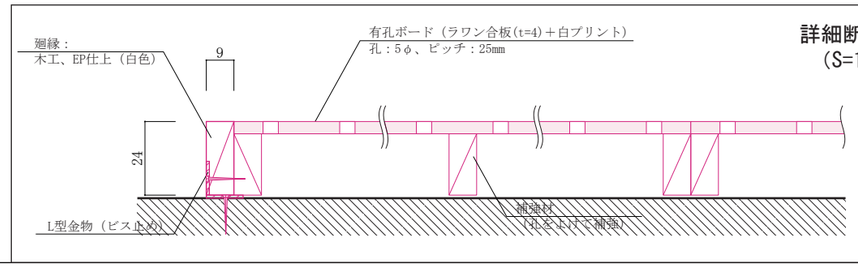
■設置場所：展示室（B）＿ガラスケース内壁面　■製作台数：５面分



■設置場所：展望室　■製作台数：６面分



詳細断面図
(S=1/2)

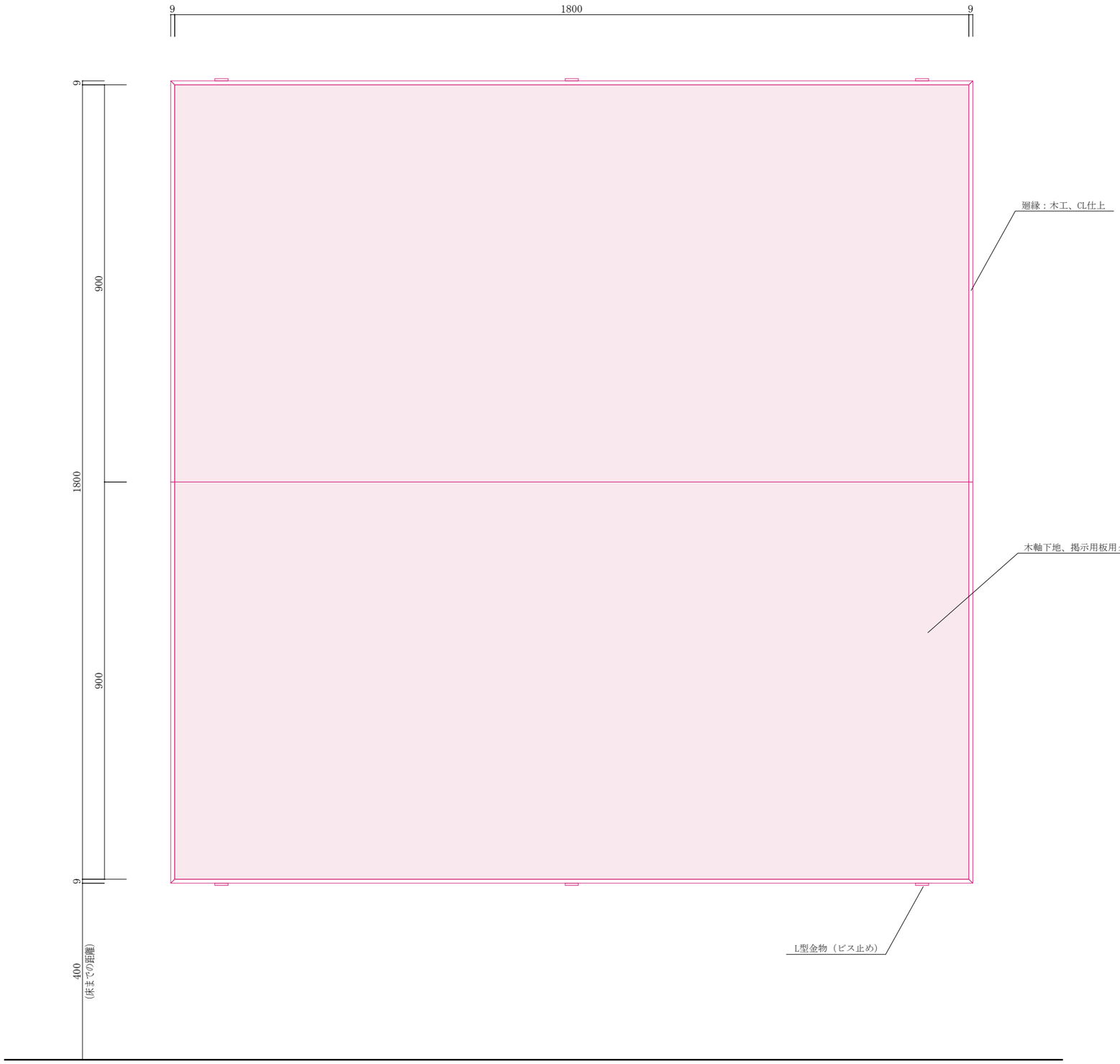


公園名称	吉野熊野国立公園		
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事		
図面名称	什器造作図-4（有孔ボード）	縮尺	1／10 1／2
年月日	平成25年9月	図面番号	Z-04
会社名	中央開発株式会社	照査 / 設計	
事務所名	近畿地方環境事務所	照査 / 設計	

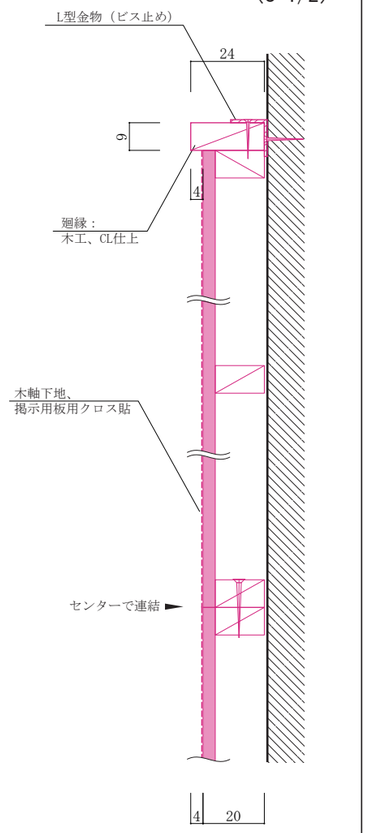
（A3判）

■設置場所：風除室

■製作台数：１台



詳細断面図
(S=1/2)

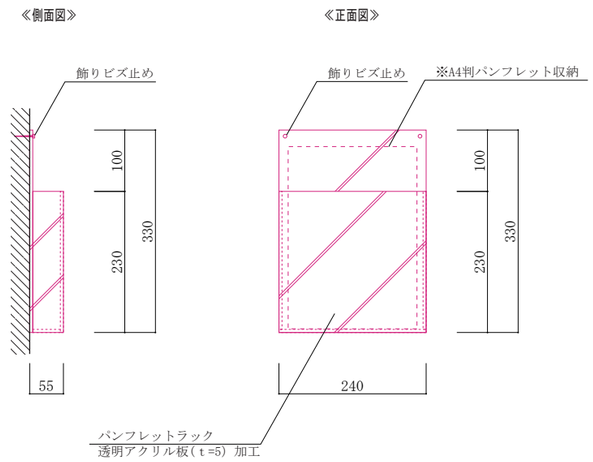


公園名称	吉野熊野国立公園		
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事		
図面名称	什器造作図-5（ポスター掲示ボード）	縮尺	1／10 1／2
年月日	平成25年9月	図面番号	Z-05
会社名	中央開発株式会社	照査 / 設計	
事務所名	近畿地方環境事務所	照査 / 設計	

（A3判）

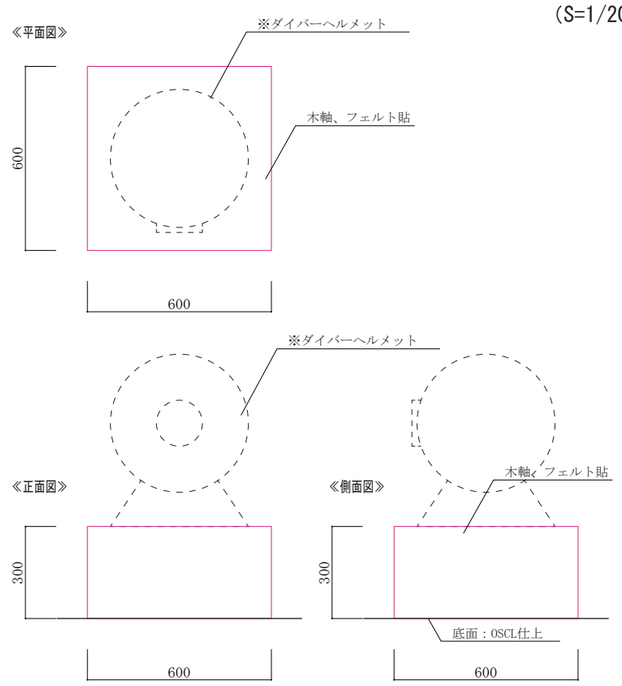
■設置場所：展示室(A) 、タタミ座周辺スロープ
■名称：パンフレットラック
■数量：５台（展示室(A)×２、タタミ座×３）

(S=1/10)



■設置場所：展示室(B) __ガラスケース内
■名称：ダイバーヘルメット展示台
■数量：１台

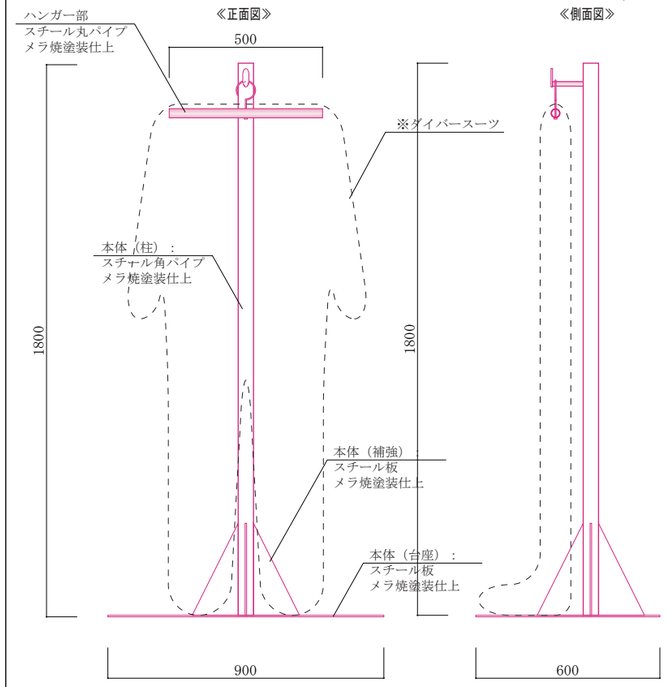
(S=1/20)



※フェルト＝ファインフェルト同等品（関西フェルトファブリック製）

■設置場所：展示室(B) __ガラスケース内
■名称：ダイバースーツ展示具
■数量：１台

(S=1/20)



■設置場所：展示室(B) __ガラスケース内
■名称：有孔ボード用フック
■数量：２００本

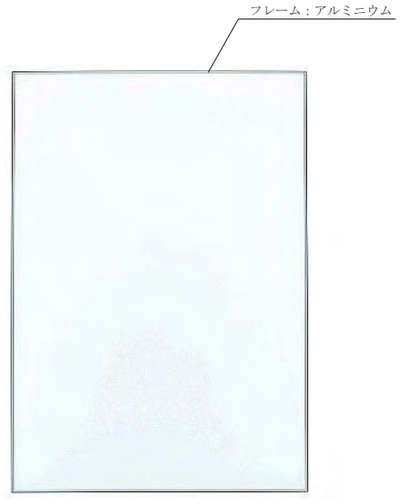
≪姿図（イメージ）≫

有孔ボードに取付イメージ

※５㎜φのボード孔に対応のこと。

■設置場所：展示室(B) __ガラスケース内
■名称：企画展用パネル
■数量：１０枚

≪姿図（イメージ）≫



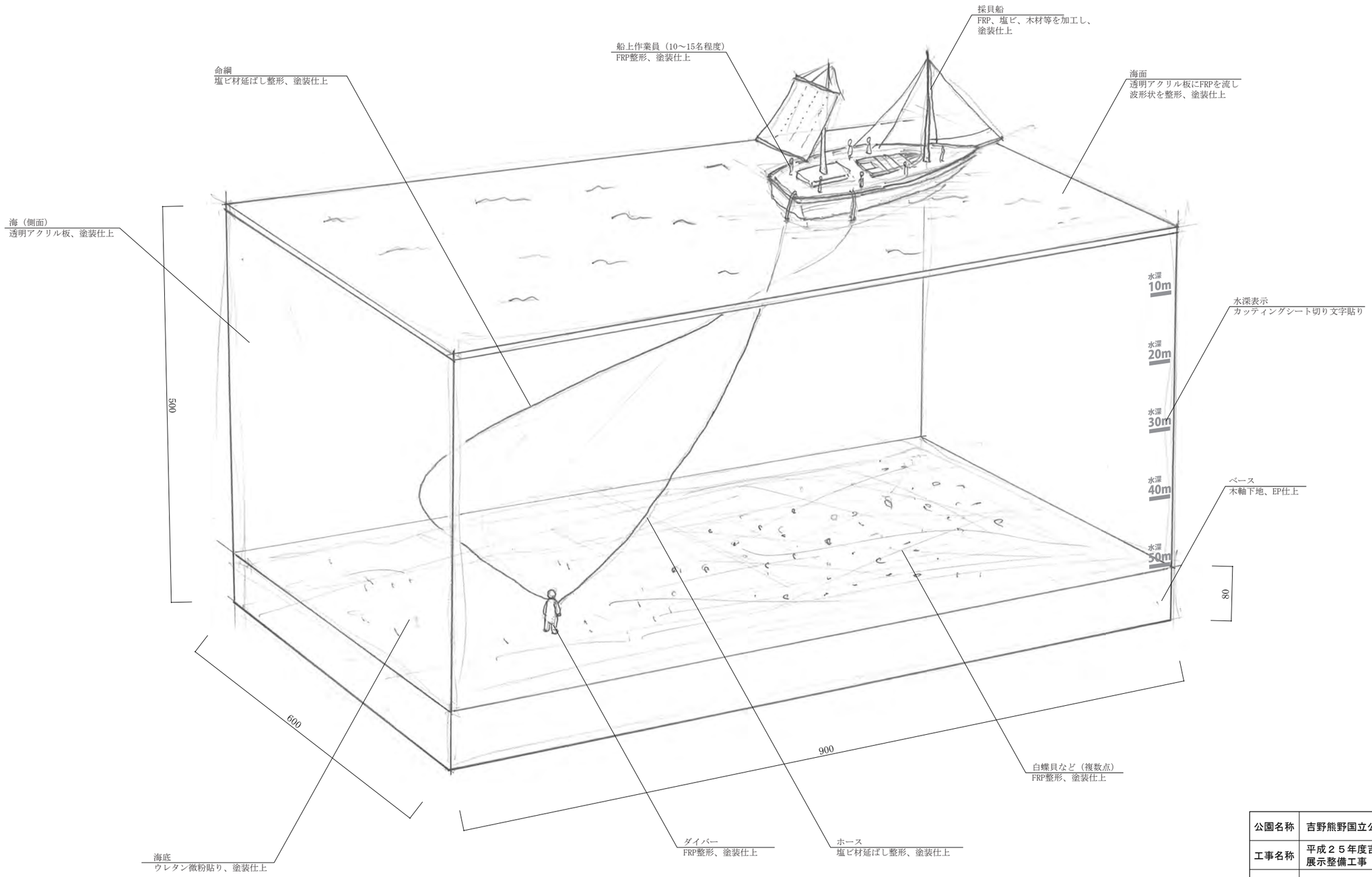
≪仕様≫
○対応サイズ：A1判
○フレーム：アルミニウム
○裏面：発泡スチロール（5㎜厚）
○表面：再生PET100%（0.6㎜厚）
○その他：ピクチャーレールからの吊下げ金具（各2セット）を含む。

■設置場所：
■名称：
■数量：

公園名称	吉野熊野国立公園		
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事		
図面名称	什器造作図-6（演示具等）	縮尺	1／10 1／20
年月日	平成25年9月	図面番号	Z-06
会社名	中央開発株式会社	照査 / 設計	
事務所名	近畿地方環境事務所	照査 / 設計	

（A3判）

■設置場所：展示室（B）＿ガラスケース内壁面　■製作台数：１台



○模型縮尺：1/100

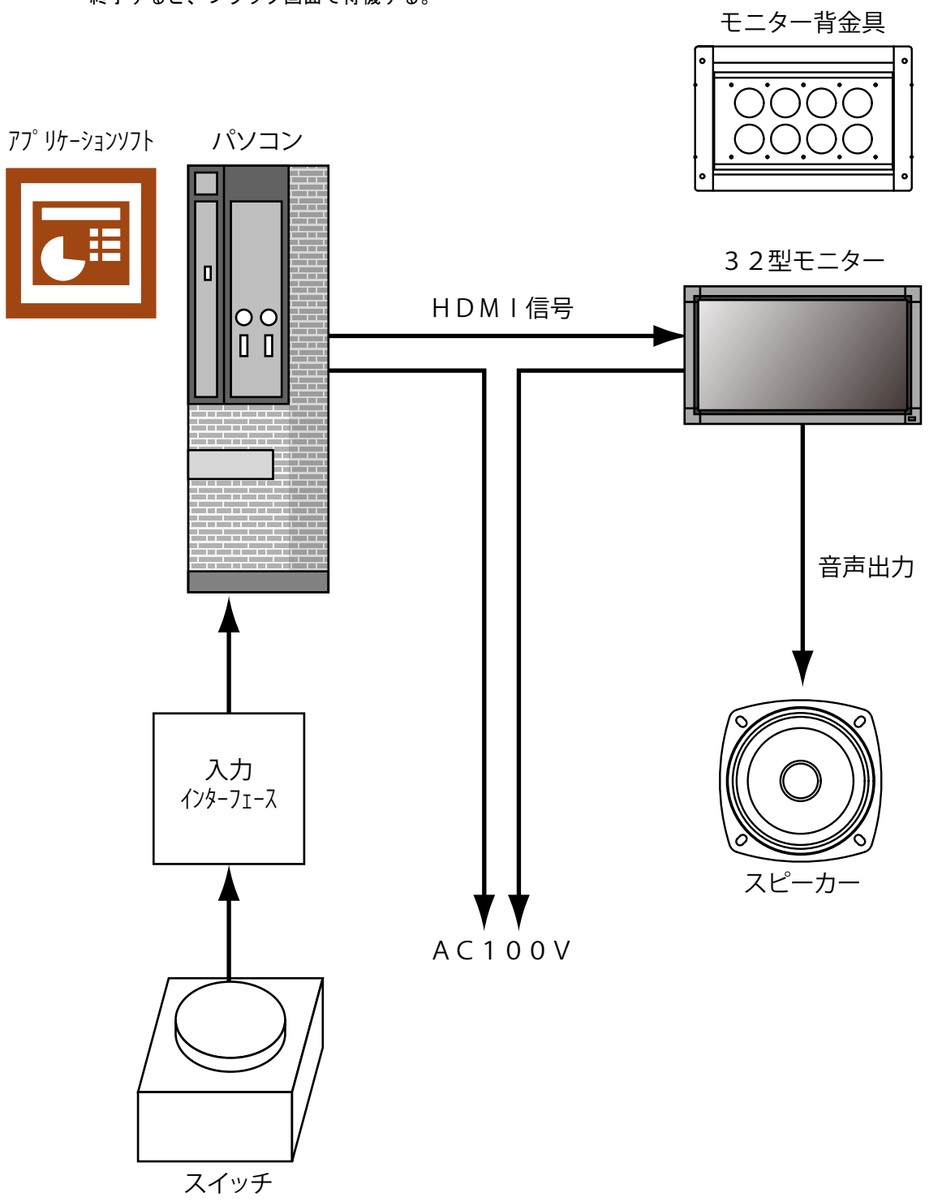
公園名称	吉野熊野国立公園		
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事		
図面名称	模型図（漁のジオラマ模型）	縮尺	—
年月日	平成25年9月	図面番号	M-01
会社名	中央開発株式会社	照査 / 設計	
事務所名	近畿地方環境事務所	照査 / 設計	

（A3判）

■設置場所：展示室（B）

○ハードシステム

主な仕様： スイッチを押すと、下記映像ソフト（約6分間）が作動し、
終了すると、ブラック画面で待機する。



○ソフト制作

主な仕様： パワーポイントで編集した、約６分程度の映像ソフトを作成する。

作業内容：
１．180点程度の支給写真をデータに取り込む。
２．取り込んだ写真データを、パワーポイントにてスライドショー編集作業を行う。
写真１枚あたり、2秒間隔で次の写真にページ送る。
３．全体的にBGMを挿入する。なお、BGMは版権フリーのものを利用する。
４．編集後にスライドショー変換し、映像ソフトを完成させる。
５．映像ソフトを上記システムにインストールする。

パソコン

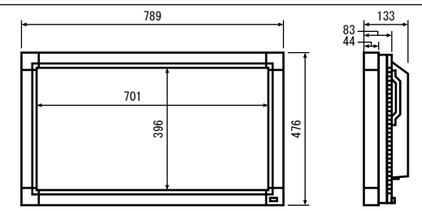
DELL製
OptiPlex3010相当

主な仕様：
第3世代インテルR Core i5-3470 プロセッサー
WindowsR 7 Home Premium 32ビット（日本語版）
2GB（2GBx1） DDR3 SDRAM メモリ(1600MHz、NECC)
500GB 3.5インチ SATA HDD(7200回転)
インテルR HD グラフィックス 2500
DVD-ROM ドライブ
最大消費電力：AC100V 43.61W
寸法：W102×H360×D410mm
重量：7.56Kg

［プロサポート］3年間
翌営業日対応オンサイト保守サービス

３２型モニター

三菱製
LDT323V相当



主な仕様：
画面サイズ・・・31.5型(80.0cm)
液晶パネル・・・VA方式
バックライト・・LED
最大解像度・・・1,366×768ドット
最大表示色・・・約1,677万色
輝度・・・・・・・・・・450cd/㎡
HDMI入力端子1系統（1080p対応）
音声出力・・・・・・・スピーカー端子
電源・・・・・AC100V 50/60Hz 103W
外形寸法・・・W789×H476×D133mm
質量・・・・・・・・・・約14.5kg

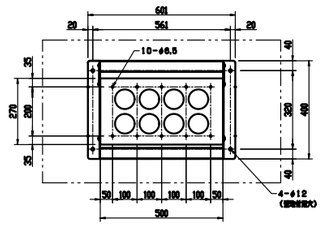
ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝｿﾌﾄ

マイクロソフト製
パワーポイント2013

主な仕様：
マイクロソフト社製Windows用
アプリケーション。
基本操作で、ページ毎に
スライドデザイン、画像、サウンドなどを
効果的に画面に貼り付けることが出来る
機能を持つソフト。

モニター背金具

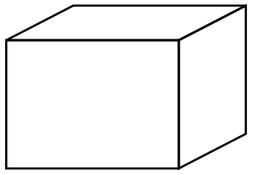
日本フォームサービス製
FFP-NM00-X相当



主な仕様：
対応サイズ・・・・32インチ
質量・・・・・・・6.5kg
可動範囲・・・・ チルト0° 固定
寸法・・・・・・W601×H400×D35mm
耐荷重・・・・・50.0Kg
VESA規格・・・・200×200
200×400

入力ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ

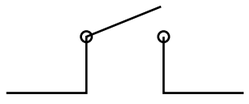
（製作品）



主な仕様：特型
機能：
外部の接点入力をPC入力キーエミュレータで
キーボードの↓キー入力が押された動作に
変換する。
インターフェース：USB
寸法：W100×H40×D100mm程度

スイッチ

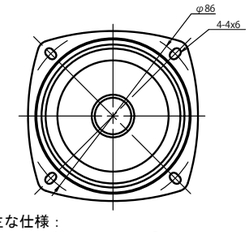
（製作品）

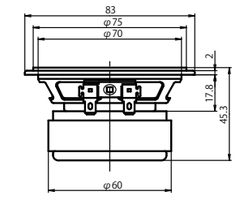


主な仕様：
モーメンタリー式接点スイッチ

スピーカー

FOSTEX製
FE103相当





主な仕様：
インピーダンス・・・8Ω
再生周波数帯域・・・fo～22kHz
入力・・・・・・・・・15W（Mus.）
マグネット質量・・・193g
最低共振周波数・・・・83Hz
出力音圧レベル・・・・89dB/W（1m）
実効振動半径（a）・・・4.0cm
総質量・・・・・・・・0.58kg

公園名称	吉野熊野国立公園		
工事名称	平成２５年度吉野熊野国立公園潮岬園地休憩所展示整備工事		
図面名称	システム・ソフト制作	縮尺	—
年月日	平成25年9月	図面番号	S-01
会社名	中央開発株式会社	照査 / 設計	
事務所名	近畿地方環境事務所	照査 / 設計	

（A3判）